愛國婦人

創刊明治卅五年三月廿七日●明治卅五年三月廿一日第三種郵便物認可●毎月二回（一日十五日）發行●電話番町千七百四十六番●同五百廿番●遞送無料●振替貯金口座東京壹壹弐一番

●定價一部三錢五厘●半年分金四十二錢●一年分金八十四錢●廣告料一行金六十錢●發行所東京麹町區牛ヶ淵公園内愛國婦人發行所●發行兼印刷人山澤俊夫●編輯人竹内貞三

明治四十四年六月一日發行　JUNE 1. 1911.

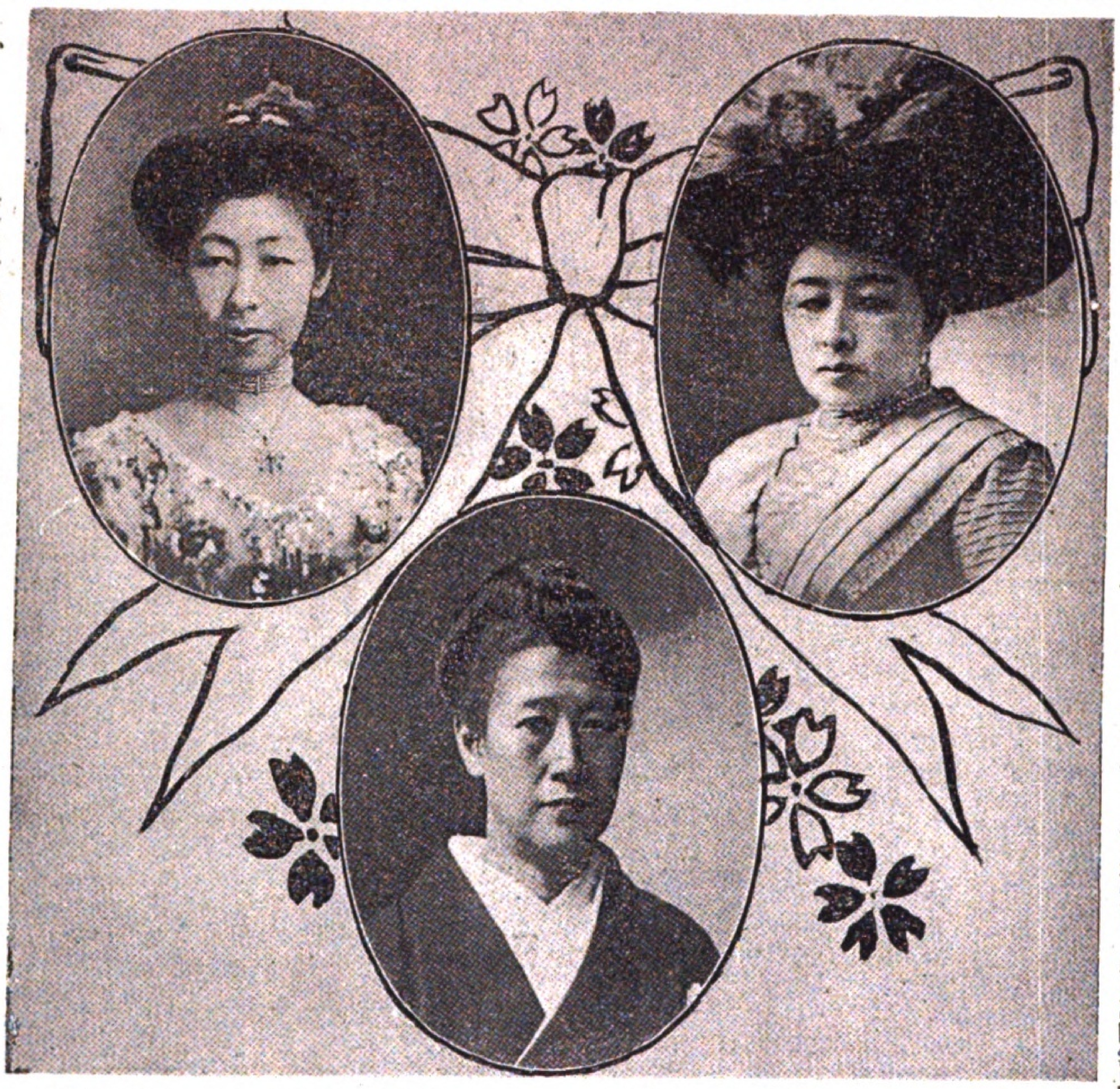
送迎の辭

初夏の空澄み渡りて、青葉若葉の風薫る茲年皐月十九日、わが愛國婦人會は、茲に舊會長岡部子爵夫人を送り、同時に舊副會長阿部伯爵夫人を新會長として並に理事濱尾男爵夫人を新副會長として併せ迎ふる事となりぬ。

顧れば、岡部子爵夫人が岩倉公爵夫人の後を享けて、本會々長に就任せられたるは、去る明治四十二年神無月六日にあり。爾來今日に至る三星霜、其の間夫人は一意專心孜々として本會々務の整理發展、會旨の普及擴張に盡瘁せらる。本會今日の盛況を致すもの、實に夫人の熱誠と德望とに因る處多しとす。然るに、今回任期滿ちて重任を辭退せられたる、本會の爲め誠に悼惜の情に堪へず。われ等はこゝに夫人が本會の爲めに致されたる過去の功績に對し、謹んで厚く感謝の意を表し、併せて將來益ゝ多祥、尚且つ本會の爲めに盡力あらん事を、赤心以て祈るものなり。

新會長阿部伯爵夫人は、曩に舊副會長一條公爵夫人の後を享け岡部舊會長と同時に、本會副會長に就任せられ、爾後今日迄舊會長を補翼して、大に本會の爲めに努力奮勵せらる。其の熱誠は八十萬會員の深く感銘する處、且つ夫人の德操堅固、才氣煥發、現代の模範的婦人として、常に世人敬慕の中心たらるゝ事は、吾人の言を俟たず、世上已に定評あり。今や岡部子爵夫人の後を享けて、會長に就任せられたる、決して偶然に非ず。本會は舊會長を失ふの悲みの深きと共に、又深大なる敬意を以て、新に斯の良會長を戴くを得たるを祝福すべきなり。更らに賢夫人として聲名高き濱尾男爵夫人の、衆望を負ひて新に副會長に就任せらるゝあり。夫人は夙に本會評議員及び理事の職に在り、久しく會務に盡瘁せられ、其の功績の顯著なるものあるは、世人の齊しく認識し感謝する處今後も必ずや亦會長と共に本會の爲め一層盡大の效果を擧げらるべきを確信して疑はず。會員諸姉、亦大に滿足し、大に祝福して可なり。

斯くして、萬國無比のわが愛國婦人會は、上 總裁殿下の御仁德と、新なる正副會長及び其他職員、並に會員諸姉の盡力と相俟つて、益ゝ將來に向上發展し、以て國家社會の爲め、世界人類の爲めに、大に貢献する處あらんとす。祝して以て慶す可きなり。聊か以て送迎の辭とす。



愛國婦人會々長伯爵夫人阿部篤子　同前會長子爵夫人岡部坻子　同副會長男爵夫人濱尾作子

祖先崇拜の美德（上）

三輪田高等女學校教頭文學士　三輪田元道

一國の強弱は種々の關係から生ずるものでありますが、之を國法學上から云ふと、領土も必要であり、宗教及び風俗習慣等の同一なる事も必要條件であり、又特に人種にも大なる關係があります。然るに、わが國には開闢以來一系の君主があり、其の皇統連綿として今日に至り、已に百二十一代二千五百七十一年の久しき間、露程の移動も無く繼嗣されて居る。此の事實は、眞に萬國無比なるわが國史の精華でありますが、且つ又此期間を一貫して、吾國領土の根柢は定まり、國體人情風俗慣習等は成立ち、以て今日の國運を來して居るのであります。而して其の國運の發展の中心たるべきものが、わが皇祖皇宗の御遺訓である事は、教育勅語にも明に詔り給へる處でありまして、由來吾國は皇祖皇宗の威德に依り、常に國家太平國運隆盛を來したと云つても可いのであります從つて 主上に於ても常に深く 皇祖皇宗を崇敬遊ばされます。

五十鈴川邊に千木高く、宮柱太く鎭座在ます伊勢大廟は、實にわが 皇室の御祖宗であり、大和民族の祖先であります。今回 皇后陛下が大廟に御參拜相成りたるは、取不直、陛下御躬ら我々臣民に祖先に對する大孝の範を示し給ふものであります。われ等臣民は又、此の大御心を遵奉し、一層益ゝ敬神の念を高めて、少しでも悖るやうな事があつてはなりません。

かの西行は沙門の身であるから、法師の立脚地から見ると、法師が最も尊しとする處は佛であると觀るのが當然でありませう。然るに、法師が伊勢大廟に參拜して咏じた歌に、「なにごとのおはしますかはしられどもかたじけなさに淚こぼるゝ」と云ふのがありますが、之は單に和歌としてよりも、寧ろ大和民族固有の精神狀態を窺ふ事の出來る一例として觀るべきもので、わが國民たるものが、一度大廟の神前に額く時には、悉く、皆此の感想に打たるゝのであります。

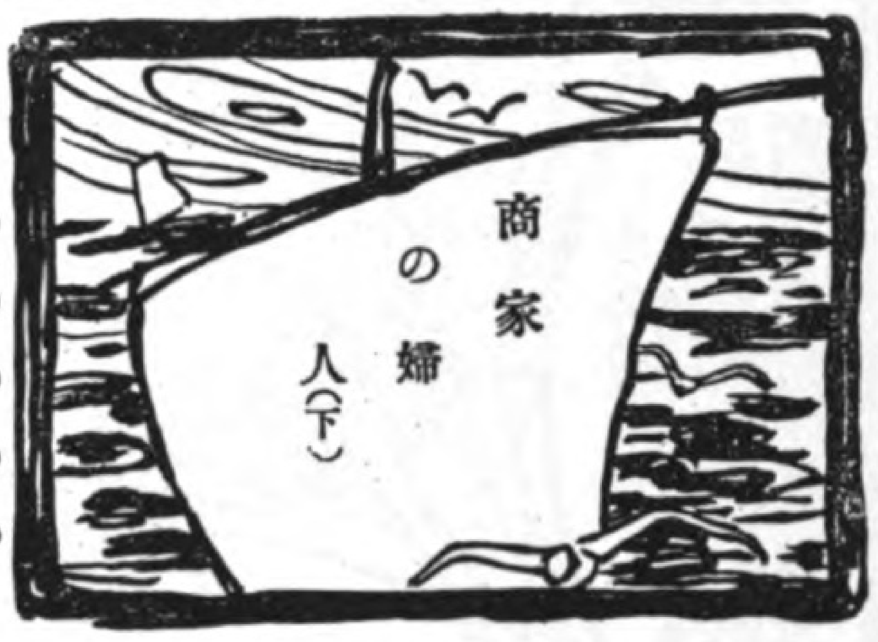
蓋し、我々大日本帝國の國民は皆、憲法上で信仰の自由を保證されて居りますので、如何なる信仰を抱き、如何なる宗教に歸依するとも、各個人の意志の儘でありますが、此の宗教觀念以外、別に祖先を崇拜し歸依するの念が無くてはなりません。世には往々、伊勢大廟を一個の宗教宗派の如くに考へる人も居るやうでありますが、此の思想は大なる誤謬で前述の如く大廟はわが 皇室の祖先であり、且つ我等大和民族の祖先であるから、わが帝國の臣民たる者は、老若男女を問はず、耶蘇教佛教或は又如何なる宗旨の信者でも皆悉く、宗教よりもより以上に超越して、イエス或は佛陀等よりも尚一層貴き我等の祖先であると云ふ觀念を以て、大廟に對する態度を定め、大に崇拜する處がなくてはならぬと信ずるのであります。

之に就ても、殆んど國史上に先例なき 皇后陛下今回の大廟御參拜は、誠に有り難きことの極みであつて、轉た感淚に咽ぶ次第であります。（以下次號）

本號主要目次

▼送迎の辭……
▼祖先崇拜の美德（上）…三輪田高等女學校教頭文學士　三輪田元道
▼商家の婦人（下）…農商務省商務局長　大久保利武
▼獨逸國婦人協會の事業（二）…法學博士　井上友一
▼バーデン婦人運動の巧拙附貧民救濟事業と看護婦の配置（下）…法學博士　小河滋次郎
▼西洋農家の家庭（一）……廣瀬次郎
▼教育に關する勅語奉釋（九）……秦政二郎
▼愛國婦人會正副會長更迭に就て……
▼爭獸評釋松の下風…京都大學講師　池邊義象
▼人身御供の話（下）…文學博士　加藤玄智
▼招かれし歐米家庭のいろ／＼……河井道子
▼家庭茶ばなし……夏子
▼講談宇都ロ孝子傳（八）……大島光利
▼其他雲井の御影、花の下露、應募和歌、料理、雜錄等
外に附錄愛國婦人會記事二頁
●本紙（附錄共）十八ページ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



農商務省商務局長
大久保利武

▲商家と教育

第五は智識を求むることであります。時勢は日進月歩で、一日一刻も止まらず發達し、學問は開け技術は進み機械は發明され、今日最新と思ふことも明日は古くなると云ふ時代でありますから、商業家は又時代の智識に餘程深く注意するところが無くてはなりませぬ。昔の學者が西洋の學問に日本の魂と云ひましたが、魂は何處までも昔の儘の魂で、智識は時代の風潮につれて進化して行かぬと、少しの油斷も直に時節に遲れる原因となります。

今日の商賣の狀態を見ると、小賣商店は次第に困難に趣くやうで、大仕掛けの業が大に勃起して三越の如き百貨小賣大商店が盛んになるに隨つて、小賣商は一層一層と困難になります。然るに、小賣商なども矢張り大商店と相待つて盛大に趣かねば、世の中の經濟の調和がとれなくなるので、特に小賣商は時世に相應する智識を十分に研究せねばなりませぬ。

此頃、日本橋邊の店でも、番頭や丁稚小僧などを夜學に通はせるとか、或は教師を傭聘して新らしい學問を授けるとか今日の商人の心得を教へるとか云ふやうな事が、餘程行はれるやうになりましたが、之は學問を授けると授けぬとは、働き振り、營業振りに非常の差異があり、又時代が縱令丁稚小僧でも、今後は皆相當の教育が無くては用をなさぬと云ふ狀態になつて來たからであります。故に商家の主人並に主婦たるものは、先づ親ら率先し、時勢に遲れぬやう智識を涵養すると同時に、番頭小僧等の使用人を集めて、講習會とか講話會などを開き、有益なる話を聞かせ、誘惑に迷はされず、健全な思想、健全な生活を爲るやうに導びて行かねばなりませぬ。

▲智識と行爲との調和

之を要するに以上述べ來つたところは差し當り商家に對して必要なる條件と思ふ事柄でありますが、未だ數へ來れば此外にも種々あらうと思ひます。蓋し一言に道德と云ふと、大變に鹿爪らしく聞え、六ケ敷いもののやうに考へられるけれども、日常の起居動作言語總て人間の本分を盡せば夫れで可いのであります。商業道德と云ふも亦此の範圍の外に出づるものではありませぬ。

人間は正直でなくてはならぬ、稼がねばならぬと云ふやうな事は、定まり切つた話であるが、日常の言語動作に當つては、爲なくてはならぬと思ふこともつい徒閑にするとか、お世辭で一時を彌縫するとか、つい約束をたがへるとか云ふやうな事が起るのは、畢竟商人間の本分を忘れて、其の場限りの一時の利益に迷はされるからであります。斯の如き商人の不都合は、識らずして之を行ふよりも惡い行爲とは識りながら、其の場限りの利益に眼を瞞まして行ふ事が多いのであります。

上の好む處下之に習ふものでありますから、家の主人や主婦が平常に於て家風即ち家の暖簾の光彩として、日常生活上に良習慣を造り、身を以て使用人を率ゐ、斯くなくてはならぬと云ふ家風を造らねばなりませぬ。

凡そ智識と行爲とが調和を缺ぎ、動もすれば言行不一致に陷ることは亦日常生活の上に多いのでありますが、家庭の中心となるものは婦人でありますから、主婦たるものはよく主人の心持ちを了解して、商業の何者たる位のことは知つても居るし、又此を實際に行ふと云ふ心懸けを持たねばなりませぬ。

今の時代は昔と違つて、競爭が激甚で從つて榮枯盛衰も多く、時風は常に變轉し、利益は常に衝突し、世上の風波は益益險惡になつて來る、此風波に堪へるには常に堅實の家庭家風を作り良生活良習慣即ち商業道德を發揮して之に抵抗し一家の維持繁榮を圖り、進んで農工業の發展と相俟つて國力の發展上に貢獻せねばならぬのであります。（了）

●獨逸バーデン婦人協會の事業（二）

法學博士　井上友一

▲世界の模範的婦人會
▲平時に於ける大活動

（五）女教員女事務員等の表彰　一千八百八十年大公妃は、教員其他救貧病院又は孤兒院等に從事する女事務員等の永年勤續する者に對して、下婢に對すると同樣の表彰を行ふこととされ、玆に又婦人協會の善良なる一事業を加ふるに至つた。

（六）産婆の表彰　永年缺點なく其業務を營む産婆に對しても、同じく賞牌を與へて之を表彰する。

（七）工女表彰　一千八百九十六年以來女工十字牌なるものを定め、十四歳以後三十年間勤續して操行方正なる女工を表彰するので、千九百七年に賞牌を與へたる數が千三百八十五人に達して居る。

（八）一般の表彰　以上數種の表彰の外一般に公私の職業に從事する女子で表彰の價値ありと認むるものには同樣の十字牌を與へる、其數が千九百六年迄の間に二百二十六人に達した。

（九）通俗圖書館巡回圖書館公開讀書室並に幻燈會　之等の庶民訓育事業も亦婦人協會の經營する所である、圖書館は藏書一萬冊に及び一千九百七年中の貸し出し冊數五千八百八十六冊に達した其藏書はカールスーエ市以外の町村にも貸出されるのである、又幻燈畫を有し、之を地方各町村に貸附て幻燈會を催さしめて居る、又圖書を各地に持ち廻はる所謂巡回圖書館の外に公開讀書室の設もある。

（一〇）小學校手工職業教員の養成　婦人の手工職業を奬勵する爲めに、毎年二期に分つて講習會を開いて居る、その講習科目は編物綴縫裁縫等である、毎期四十名乃至七十名の講習生があるさうだ。

（一一）女子補習學校　名けてルイセン學校といひ、小學校を修了したる女子補習教育を授くることを目的として居る、他地方よりの入學者の爲めに校内に寄宿舍があり、生徒は普通五六十名を收容して居る。

（一二）女子職業學校　裁縫、縫ひ取り編物洗濯圖畫を教授し、一年を三期に分ち一期生は約一千人である、之にも校内に寄宿舍の設備がある。

（一三）女子商業學校　商工業の隆盛に伴ひ、簿記算術の素養ある女子を、或は商業上の助手として、或は工業家の書記其の他として使用するやうになつた、協會に於て經營する職業學校に於ては、簿記及算術を授くる事は無論であるが素より不十分であるから、その後數學並に商業上の必要なる科目を加へ、商業補習科を開始したが、一千九百二年に至つて、改めて獨立の商業學校となした附屬として、特に佛語通信文、英語通信文、速記及びタイプライターの講習がある、一千九百七年の學生約七十五人であつた。

（一四）刺繡學校　刺繡術の教員を養成する目的で、三年を一期とする講習科を設け、又地方から出て來る者の爲めに短期の特別講習科がある。

（一五）家政學校　主婦又は主婦の助手たるべき婦人を養成する目的で家政學校を設け、一年二期の講習を爲すのである、一千九百七年に於て學生が四十九人あつた、又此外に老婦扶養所の附屬として一の家政學校と家政學教員養成所をも有して居る、後者は小學校及び補習學校の家政科の教員を養成するのである。

（一六）老婦扶養所　去る一千八百八十一年ルイセ大妃は、寡婦又は未婚の老婦中、不幸にして家族を有せざるもの殊に其の上中流社會に屬する者の爲めに、家族生活に代るべき住居を供するは最も緊要な事業なりと認め、自ら多額の資金を投じて老婦扶養所を設けられた、千八百八十三年開所の當時は、十一人の老婦が玆に安靜なる住居を得て、其の餘生を樂むことを得、今や二十餘人を收容して居るさうである、又家政學校を之に附設して少女に厨房の事を習得せしめ、傍ら扶養所の家庭的趣味を增さんことを期して居る。

（一七）職業紹介所　教育ある婦人少女の職業を求むる者の爲めに、職業の紹介を爲すのである、その職業は家庭主婦代人、家庭補助人、交際婦、病院療養所の看護婦長、教育者等で、一千九百七年に於て仲介したる者の數が二百六十五名に達して居る。（つゞく）

大井川たえずふきおろす山松の
あらしのかけは夏なかりけり（景樹）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

歐洲婦人運動の巧拙（續）

（附）貧民救濟と看護婦配置

法學博士　小河滋次郎

俗にも一に看護二に藥と云ひ、凡て病氣に看護の至極大切である事は云ふ迄も無いが、田舍の人達は看病に就ての智識を持たず、殊に應急手當の方法等に關する智識は皆無と云つても可い位であるから、若し病人が出來た場合は、其所に駐在する看護婦が進んで其を看護し、同時に人々にも看護の方法を敎へ、又急病人の如き場合には、田舍では醫師の來診も遲れ、往々手當の時期を失するやうな事もあるので、看護婦が早速相當の手當を施して、醫師の來診を待つ、斯くて看護婦をして醫師の力と相待つて活動せしめたならば、其の費用は割合に少額にて濟み、其の効果は却つて著しいものがあらうと思ふのである。尤も看護婦の看護を受くる貧民には、自治體なり或は他の公共團體なりの慈善救濟資金を以て施療し又若し相應の資産ある者であれば、其の實費を支拂はせることが必要である。それも各村毎に二人とか三人とかの看護婦を駐在させる事は出來まいが、夫れには赤十字なり愛國婦人會なりの會員若くは令孃などが、概略の看護方法を心得て、篤志を以て代る〴〵看護の手助を爲す事が至極可いと思ふのである。かく良家の婦人が、美はしき看護事業に努力し、下流社會と接觸するやうになれば、從つて婦人と慈善救濟の事業とが益々密着なる關係を生じて、眞の同情ある慈善事業が愈々進歩發展し、一面には同類相救ふの美風ともなり、又貧富間の感情を調和し、貧富の懸隔の爲めに生ずる種々の困難なる問題を豫防する基ともなるであらう。赤十字若しくは愛國婦人會員たる名譽に對しても、是れ位の活動は婦人に於て成されねばならぬ。斯くてこそ眞に赤十字であり、眞に愛國婦人であらう。

又都府の地では、慈善病院を建設する事も必要であらうが、併し病院の數が尠くて、貧民が是等の病院の存在を知らぬやうでは不可ぬ。又、よし病院が建設られても、區役所から貧民たる證明書を受けて來ねば施療をほどこさぬと云ふ樣に形式に拘泥しては、どうせ其等の手續にも不馴の人々の事であるから、誠におつこうにも考へやうし、且つ證明書を貰ふ迄に二三日間も徒らに經過して、急病人の療養には間に合はぬと云ふやうな事も起るであらう。尙又、我國人には、一般に、公然他人の恩惠を受け、施藥を願ふごとき事を嫌ひ避ける傾向がある、之れは一面から觀察ば一個の美風と稱すべきものであつて、斯の如きは可成之を傷けずして永く保存やうにせねばならぬ。

よし又貧民を病院に收容し得たとしても、別に病院を嫌ひも爲まいが、自宅を好むは東西均しき人情であつて、歐洲でも病院へ入院して療養するよりも、自宅療養の方が成績が可いと云ふ事でもあるし、まして我國人の氣質として、どうせ死ぬる程ならばいつそ病院よりも自宅で死にたいと、自宅を戀ふる觀念があるので、病院へ收容するよりも、出來得る限り自宅に於て療養せしめる方が可いのである。

彼是綜合すると、縱令病院を設けたとしても、唯病院を設けて貧民の來院するのを待つと云ふやうな消極的方法を採つては其の効を成さぬ。進んで貧民の宅に臨んで施療すると云ふが如き積極的の行動に出でねばならぬ。それには前述の如く、看護婦配置の方法を採り、別に赤十字なり愛國婦人會なりの會員若しくば令孃の如き、名譽ある婦人を選んで貧民救濟の監督委員を託し、委員は時々貧民の部落を巡視して病人の有無を調べ、若し病人があれば、直に看護婦を派遣し、醫師を赴かしめて施藥救濟の方法を採ると云ふやうに爲たいのである。現に歐米の或國々では已に此の方法を實行して多大の効績を擧げて居る、而して其監督委員たるべき人は殆んど皆婦人である。

之等の點より見るも、婦人が一般に看護方法を心得る事は最も肝要であるので我國の女學校でも料理法の如き或は裁縫の如き家庭で學ぶ事が出來るものよりも寧ろ概略の看護法を生徒に敎授する事が至極結構であらう。殊に家庭に於ても、主婦たる人に此の智識が供はつて居れば、平常病人が生じた場合には勿論、應急の手當を要する如き場合や、醫師が間に合はぬやうな場合も往々在る事であるから、是等の折りには非常の利便を得、且つ其家庭のみならず近隣の人々までも大に助かる理である

前年、ノールウエ國の首都コツペンハーゲンで婦人連合の萬國大會が開催された節、伊太利から來會したクラチユネスコと呼ばれる知名の一婦人が、『恰も男子が皆徵兵の義務に服する如くに、總ての婦人にも、病院に勤務して看護法を學ばしむる方法で、一定の期間看護婦となる義務を有たしむるやう爲ねばならぬ』と熱心に主張したが、之れ程迄には到らずとも、上下一般に婦人が看護の心得を有する事となれば、將來慈善救濟等の事業に婦人の手を延ばす基ともなり、美はしき貧民救濟事業は、愈益向上發展する事となるのであらう。（了）

●西洋農家の家庭（一）

愛媛縣新居郡中萩村　廣瀨次郎

私は昨年から本年に掛けて、歐羅巴各國を視察して參りましたから、其中で餘り書物にもなし、又世間に知られて居らぬ事柄即ち農家の內幕に就て一通お話して御參考に供し度いと思ひます。西洋諸國の都人士の生活狀態は、日本にも能く知られて居ますが、農村に就ては想像以外のことが頗る多いのであります。或點に就ては、日本の農村と非常なる相違が有ます。けれども又或點に於ては、殆と其揆を同じくして居るのであります。何事も西洋の事は大きいといふ考が、吾々の頭にありますけれども農村は概して小さい、甚だしきは、僅か二三十戶で一村を形造つて居る、尤も都會附近の村になれば二三千戶の大村もありますけれども、純粹の農村は、大抵二百戶內外でございます。從て人口も千人以下です、併し人口や戶數は少いのでありますけれども、一村の耕地の面積は、日本の平均一箇村と左程變りが無い、或は少し大きいだらうと思ひます。即ち日本の農業は極めて小仕掛けであるけれども、西洋の農業は大仕掛けであるといふことは、それで御分りになると思ひます。凡、村には必ず役場があり、小學校があります、小村では役場と學校と敎師の住宅を一緒にして、役場の常務は敎員が兼務して居ります、其上に郡が有り或は縣があるといふことは、大體日本と變が無い、歐羅巴の田舍へ這入つて目に立ちますが、道路が到る處に廣く通じて居る、如何なる山村僻地へ參りましても、車の通じない里道は無い、是は歐羅巴人が物を荷ふことが出來ない所から運搬には必ず車を用ゐる、而も手車に依らずして多くは牛車若しくは馬車を使ふから、勢ひ道路を廣くして置かなければならぬ、水や糞を施すにも直接車を畠の中へ引張り込んで恰も東京市中で道路に水を撒きますと同じ仕掛で水や糞を掛て居る、其位であるから通路は少くとも荷馬車の通する廣さになつて居る其の上に或る國では、縣の事業として、或は郡の事業として、輕便鐵道や電氣鐵道を布設して居る、又水の不自由な所では、水道を設けて居る、是は僅に人口が五十戶位の所でも、各戶で水を汲むのは冗な勞力を費すから、共同で深き井戶を掘りて、蒸氣ポンプで水を汲上げて居る樣なこともある、それから又歐羅巴の中では西班牙とか或は伊太利とかいふ國は南の方によつて居ますけれども、佛蘭西や獨逸、英吉利の如きは日本で申しますと北海道位の所である、それ故に冬は餘程日が短かく、燈火を點する時間が長いから、是亦組合事業として、瓦斯或は電燈を點けて居る、夫から農家では生產したる物品を賣つたり、又日用品を買求めますには、商人も農村に這入り込みますけれども、多くは每週土曜日郡役所々在地、或は其他郡內の重もなる村に市が立ちます、此所に生產物を持出して販賣し、其の賣上げで日用品を買入れて歸るといふ樣なことで、其外に農村には、郡內に二三箇所の郵便局もあれば醫者も居るし、又公證人なども居る、大抵私共田舍へ參りまして暮して居りますのに、不便不自由は感じない樣になつて居る。

農家の建物は國々に依り、又農家の貧富に依り種種ありますけれども、中等の農家で住宅と納屋と厩とは必ずある、さうして大抵表通りは、日本と同じ樣に、納屋若くは厩で出來て居りますが、裏側の方は牆を廻らして、其の中で蔬菜又は自家用の果樹を栽培して居る。（つゞく）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

教育に關する勅語(九)

秦政二郎謹解

夫婦相和シ　と仰せられたのは人倫の根本を繹ねると夫婦より外にはありませぬ。

又人は一人で內外の事を掌ることが不能から夫婦互に一致して人事を分業せねばならぬ、然るに夫婦若し不和であると一家の人事を經營むことが可能ず子女の教育も行き屆かぬばかりでなく子女も亦親の不和なのを見倣うて兄弟姉妹の友愛も破れ、究竟は家勢の潰れる基になつて父母には不孝となり子孫には不幸をさせ他人には迷惑をかけるから斯樣に勅示遊ばされた御事かと推し量り奉る、

實に夫婦の和合は第一其の身の幸福で及ばしては一家中の幸福となり國家繁盛の原ともなり君主に對し奉つても忠良な譯でありませう、和するといふことも唯飮食衣服などの奢侈を娯しみにしたり物見遊山に同伴つて慰みばかりに耽つたり猥りがはしい犬猫のやうな戲事をいふのではありませぬ。

元來人類に男女の二性あるのは二個の異性で一個體の人事を果成るやうに出來て居るのであるが人は萬物の靈長であるから禽獸の牝牡雌雄のやうな物と違つて正しい道を以て結婚し各自其の生理と道理とに從つて男は男の本分、女は女の本分を分掌け男夫は建設的の事に當つて唱作けば妻女は守成的の事に當つて之に和勳し其の兩親には夫婦とも自己の親と同じやうに孝行して家庭を齊め人の父母ともなつては子女をよく教育して共同に國家の爲にも社會の爲にも盡瘁せねばならぬのであるから責任も重いが夫婦はよくよく深い緣ゆゑ伉儷睦く互の道を守らねばなりませぬ。

今西洋では夫婦の愛を人倫の大本として之を重んじ、支那は昔から親子を根元とし、我が日本では君父に忠孝するのを人倫の本務として居ります、然し西洋のは夫婦の愛を本として仁慈も信義も行ふべしといふのであり、支那のは孝行を本として忠信も仁義もすべしといふのであり、日本のは忠孝を本として仁愛も悌も信も施すべしといふのであるから、夫婦相愛すれば外の倫道は如何でも可い親に孝行すれば外の倫道は如何でも可い君父に忠孝すれば外の倫道は如何でも可いといふ譯ではありませぬ、然るに昔支那の教育の盛な時に親に孝行らしい者で君に不忠な者が出來た事もあつたやうに今日は夫婦の劣愛を主にして忠孝信義などを缺く者があるかも知れませぬ、其れゆゑ夫婦は互に相愛せねばならぬが正しい愛を盡しあうて和合せよと仰せられたのでありませう、正しい愛の和合とは夫唱婦和の道の事で相愛する中に夫婦の別があつて夫唱ふれば婦和すといふのは生理からも道理からも當然の事であります。

昔、伊弉諾尊と伊弉冊尊とは夫唱婦和の禮と男女分業の範とを躬行になつて夫婦相和することの訓を遺され、仲哀天皇と神功皇后とは平和と戰亂との時に處る天職を垂示になつたから、歷朝の天皇后は申し上ぐるまでもなく臣下の者も之に倣ひ奉つて、唱和の禮が正しう行はれました、中には近古の山內一豐、細川忠興、貝原益軒、瀧鶴臺、などゝいふ人の夫婦は誠に良い模範であります。

それ故孝德天皇の大詔に先づ己れを正しうして人を正せと仰せられてあるのも夫婦の道から男女朋友の交際まで總て人類の品性を戒められた聖意と察ひ奉るが正しい夫婦の和といふ、者は夫れぐ禮のある事で淫猥な親愛をいふのでないから、若し夫婦の間にも正しい禮が無いと必ず却つて不和になります、故に父子親あり夫婦別あり朋友信ありなどゝいふ戒は古い教であるけれども是れは今日にも緊要な心得であります。

雲井の御影

▼四月十七日(月)　北白川宮武子女王殿下保科子爵へ御降嫁
▼同十八日(火)　皇太子殿下宮城縣下參謀演習御成
▼同二十日(木)　觀櫻御會
▼同二十一日(金)　德大寺侍從長、桂總理大臣、小村外相、寺內陸相に御陞爵奉授式を行はせらる◎梨本宮妃殿下名古屋御成
▼二十二日(土)　去る十六日御誕生久邇宮多嘉王殿下第三王子御命名式　發子と御命名相成る
▼二十三日(日)　三皇孫殿下濱離宮御成◎泰宮內親王殿下代々木御料地御成◎竹田宮殿下湯島大成殿に成らせられ孔子祭御臨場
▼同二十四日(月)　斯道奬勵の思召を以て　兩陛下御使者を東京勸業展覽會へ御差遣相成りたり
▼同二十五日(火)　京都大阪地方に於ける御陵視察の爲め東園侍從山口諸寮頭を差遣はさる
▼同二十七日(木)　皇太子殿下參謀演習より御歸京◎竹田宮殿下千葉縣下御出張
▼同二十八日(金)　清國駐屯軍及第三艦隊御慰問の思召を以て侍從御差遣あり
▼同二十九日(土)　第一皇孫殿下第十一回御誕辰
▼同三十日(日)　竹田宮殿下千葉縣下より御歸京
▼五月一日(月)　故河島北海道長官に對し祭粢料御下賜
▼同二日(火)　伏見宮武德會總裁殿下京都御成◎閑院宮殿下甲府地方御出張◎山階宮菊麿王殿下御三年祭
▼同三日(水)　天皇陛下樞密院臨御◎去月二十二日の新潟縣下の大火に對し特別の思召を以て御下賜金あり
▼同四日(木)　閑院宮殿下甲府より東久邇宮殿下習志野より各御歸京
▼同五日(金)　畏き邊より北小路子爵氏八十歲の老齡に達する由聞召され御目錄一封御下賜あり
▼同六日(土)　竹田宮殿下日本競馬會御台臨◎北白川宮殿下第一王女御誕生
▼同七日(日)　閑院宮赤十字總裁殿下千葉御成
▼同八日(月)　鳥取縣下火災に對し御救恤金御下賜◎京都御住神宮祭主久邇宮多嘉王殿下に對し神宮式年御造營の御慰勞として金圓御下賜あり◎獨逸駐在名譽領事其他に對し御眞影御下賜
▼同九日(火)　皇后陛下愛國婦人會總會行啓閑院宮殿下伏見若宮妃殿下愛國婦人會總會に御臨
▼同十日(水)　兩陛下より在東京癈兵院癈兵御慰藉の思召を以て孔雀一羽御下賜あり◎閑院宮殿下千葉より御歸京
▼同十二日(木)　去る六日御誕生の北白川宮殿下第一女御命名式あり美年子と御命名相成りたり
▼同十三日(金)　三皇孫殿下御參內宮中濟寧館にて演武御覽あり

●總裁殿下手藝品御嘉納

今回本會手藝研究所より製作品を獻上致したる處左の如く會長へ宛て御滿足に被思召たる旨別當より御挨拶を給はりたり、

拜啓陳者愛國婦人會職員幷に有志の會員にて先般來手藝研究被致居候處試製の人造絹絲製ショール三枚總裁殿下に獻上被成度御差出に付委細言上御披露仕候處御滿足に被思召候間此段御挨拶申進候敬具

明治四十四年五月十八日　閑院宮附別當　長崎省吾

愛國婦人會長
子爵夫人岡部坻子殿

◉十支部長其他の癈兵院慰問

第十回總會の爲め上京滯在中の愛國婦人會函館支部長安井吉野子、同支部評議員桑原繁子、同櫻井春代子、同三坂都留子、島根支部長高岡梅子、佐賀支部副長山本嘉壽子、同支部評議員池田喜代子、同津田梅子、茨城支部副長田中賴子福井支部長中村千代子(代理池松てつ子)岩手支部長笠井よし子、埼玉支部長島田才子、同副長黑田てつ子、同評議員大岩淑子、東京支部副長昌谷槌子、長崎支部長代理評議員正木てる子及福岡支部長代理事務官補貝原秀雄氏等の諸氏は去月十二日正午より打ち伴ひて府下巣鴨なる東京癈兵院に癈兵諸氏を慰問され菓子料として金若干圓を贈呈されたり。

◉いろく

▲鼠の繁殖力　鼠は人間よりも百倍乃至二百倍の繁殖力を有つて居る、一對の家鼠が一年に百十四の子を產み、野鼠は百九十八匹の子を產む、之れが四ヶ年すると家鼠は百七十六萬三千二百四となり、野鼠は一億千六百八十二萬七千九百二十四となる(宮島醫學博士)

▲遊蕩費五千萬圓　其の筋の調べによると東京の遊廓に於ける遊蕩費は一ヶ年約四百七十八萬圓で京都の遊廓に於ける遊蕩費は一ヶ年二百二十六萬圓位である、其外全國の遊廓に於ける遊蕩費は一ヶ年五千萬圓以上であらう(神戸法學博士)

▲自殺者は京都が一番多い　明治三十三年から四十年迄八ヶ年間の自殺者數は七萬三千三百十人であるが內京都府下が一番自殺者が多い(岡野文學博士)

▲一人あて五十錢也　我國は歲々邦人の爲めに莫大な金額を消費して居るが之を吾が國人に割當てゝ見ると一人あて一ヶ年五十錢宛支出する事になる(上田典獸)

▲一升は幾粒　米一合は約七千五百粒ある、

▲婦人の裝飾費　世の中は年一年と贅澤になつて行くが一佛國人の言に依ると佛國でも今から三十年前には金の八千圓も持つて居れば金滿家に數へられたので六十圓も出せば一寸した晴着が作られたのだが今日では散步服でさへ百二十三圓はかゝるさうである。

▲太神宮樣での婚禮　日比谷の太神宮樣での婚禮の開始は明治三十四年七月二十一日であつたが其の後同宮で結婚式を擧げたものは約三千組あつた內昨年の結婚數は五百七十七組、本年は之れよりも餘程多數に上るだらうとの噂である。

▲貯蓄せよ　但し仕事と塵芥は溜める可らず(井上角五郎)

▲教育勅語道話　教育勅語の有りがたき御趣旨を昔の心學道話風にいと平易に講述したるもので面白可笑しき譬話や涙の出るやうな人情話を讀んで居て其間に知らず識らず勅語の御主旨を會得するやうに試みられたのであります(宮內省圖書寮編修官一德會講師神谷初之助野村文學士講述)神田三崎町有美堂發行定價一圓

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

箏曲評釋

(二十五) 京都大學講師 池邊義象

◎扇の曲

(一)扇はさくらの三重かさね、かすめる月を書にかきて、水にうつろふこゝろはへゆゑなつかしきありさま。

この段は、源氏花の宴の卷にてかけり。三重かされのあふぎは、朧月夜内侍のもちたまひし扇なり、本文に曰く、かのしるしの扇は、さくらの三重かされにて、濃き方にかすめる月をかきて、水にうつしたる心ばへ、目なれたれどゆゑなつかしとてならしたり、草の原をばといひしさまのみ心にかゝりたまへは、世にしらぬこゝちこそすれ有明の月のゆく方を空にまかへてとかきつけたまひて置たまへり、とあり。櫻の薄樣は表白く裏すはう色なり。三重かされは、三重つゝうすやうにてつゝみて糸にてとぢて、末をむすびおきたるものなり。ゆゑなつかしうとは、その樣子の何となくみやびてなつかしきをいふ。

(二)たそかれ時のまがきに、ほの〴〵見えてさけるは、小家がちなる軒のつまにあまりてかゝる夕かほ。

これは、源氏夕かほの卷によれり。たそがれ時とは夕くれのこと、その夕くれに源氏夕かほの庵にいたりて、『よりてこそそれかとも見めたそかれにほのほのさける花の夕かほ、」その白うさける花を扇にのせてもらはれしことあれは、こゝに風流の扇の例としてひけるなるべし。

(三)武藏野もさらしなも、須磨や明石のおもかけも、うつしてこゝに見る月の、なかめはいつも廣澤。

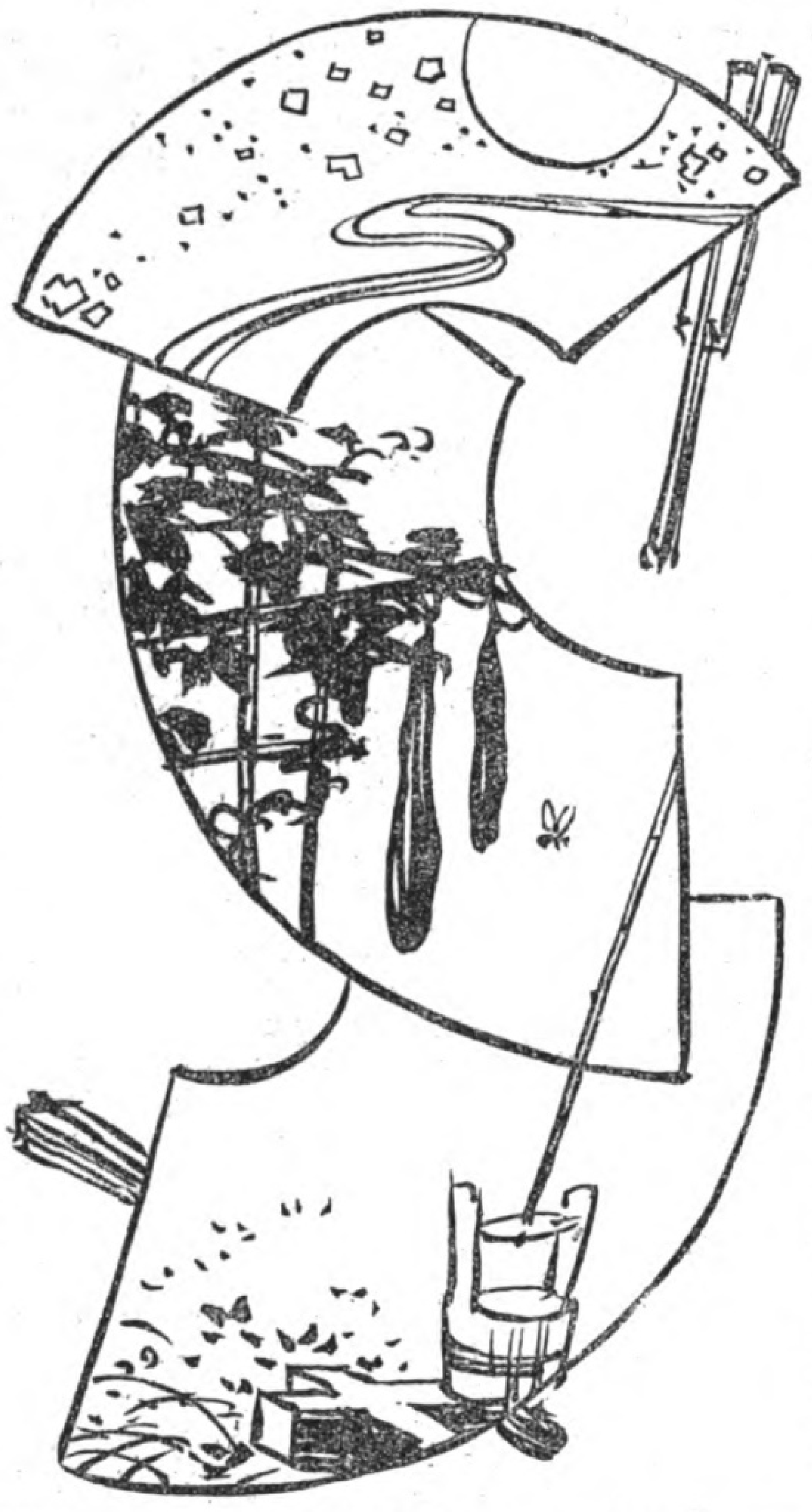
これは、初段のかすめる月を云々といへるに應ぜり。武藏野の月、更科の月、須磨の月、明石の月、いつこの月のおもかげも、この廣澤の池水にうつして見ることよと、むすびいへるなり。廣澤といふより眺のひろきといひかけたり、六百番歌合信定『更科もあかしもこゝにかよひきて月の光もひろさはのいけ、」これと同じきこゝろなり。

(四)夢にはかり夜な〴〵、おもふ人をみちのくの、名古曾の關を唯かすゑて、うつゝにこともかよはす。

玉葉集一品資子内親王「夢路にはなこその關もなしといふにこひしき人のなどか見え來ぬ」といふ歌などのこゝろなるべし。名古曾に勿來の意をもたすることはつれのことなり。初に夢といひおこし、終にうつゝにことも通はすとむすべり。

(五)こひ〳〵てこひ〳〵て、こひしき人をまつち山、まつらむものをゆきて見むゆきていさやあひ見む。

万葉集人麿の『いであが駒はやくゆかむよまつち山まつらむ妹をゆきてはや見む』などの意をとれり。まつち山といふ名の人を待つにかよふより、おもひよせたるなり。こひ〳〵てこひ〳〵てと重れいひたるに、切なる情あらはれ、まつち山につきたるいきざしもいとふかくきゝなさる。



(六)あかしかねたる霜夜の床も、さびしきあらしのおとは、そよ〳〵さら〳〵とふるは、霰の玉さゝ、

冬の夜におもひあまりて明しかねたるに、霰のさらさらと嵐とゝもにふりくるさびしさをいへり。玉さゝの上にふるはことに、その音さえて、思ひある人のねられぬものなり、清輔朝臣の歌に「君こすはひとりやねなむさゝのはのみやまもさやにそよく霜夜を」といふあり。

この一組は、初章に扇のことをいひ、次に同しくそのことをいひて、いつれも艶なるあふきに情のこもれるを述べ、一轉して月の光のくまなく池水にさすに及ほし、それより四五六とかさねかけて、戀心の切なるを叙せり。四季の曲のごとく貫かされともこゝろはとほりたり。

●護謨女 米國はカンサス州に護謨女といふ不思議な女が居る、身體の皮膚が伸縮自在で何處を引張つて見ても護謨のやうに伸びて放せば忽ち元に治まる、年は廿二で近頃紐育の見世物に出たが巡査が怪むで實驗に及ぶと實際ゴムのやうに伸びたのでオールライトといつたとさうである

●婦人の官吏 諾威政府では此程陸海軍人、外交官、僧侶以下の官職に婦人を任用するの議案を議會に提出した政府は始め僧官にも婦人を任用するの意思があつたが大僧正等の嚴重なる抗議を受けてコレ丈は今度提出することを見合せた

◎人身御供の話（下）

文學博士 加藤玄智

▲淺香沼の大蛇

「昔々、奥州淺香沼と云ふ池に主の大蛇が居て、歳々此の主には一人の女の兒が日を定めて人身御供として犠牲に供て居た。然るに或歳のこと、其村一等の金滿家の一人娘に白羽の矢が立つて、其の娘を犠牲に供へればならぬことになつたので、親達は非常に嘆き悲んで、親族のものや傭人等を國々に廻らせて、廣く娘の身代りとなる人を捜させたが、誰も命を惜しむは人情であるからいくら金滿家でも如何とも爲る事が出來ず、其内に犠牲に供べき日は迫るし、親達の嘆は他所の見る眼も哀れであつたが、こゝに一人の孤兒があつて、『一つの願さへ聞いて被下ばお娘の身代りとして人身御供に立ちませう』と申出でた、娘の親達は大變に喜んで、どんな事であらうと必らず願は叶へて上げるから、是非娘に代つて被下と頼むと、孤兒は自分の親達は大變に觀音を信仰して居たので、亡き親達の供養の爲めに觀音像を一基創立つ被下ば、自分は何も此世に思ひ殘すことは無く、快くお娘の身に代つて淺香池の主の餌となり、戀しい父母の後を追ひませうと云ひますので、親達は早速金に委せて觀音像を造つて、孤兒の親達の冥福を祈りました、やがて其の日になり孤兒は娘の代りに淺香池に連れられて行く、沼の傍りに唯獨り瞑目して死を待ち、一生懸命に觀音經を誦して居ると、やがて大蛇が波を蹴つて現はれ出で、唯一口に犠牲を呑まうと近寄つて來る、孤兒は眼を開いて之を見たが少しも恐れず、近寄る大蛇の頭を、手に持つて居た觀音經で靜かに撫でると、大蛇はその經の功力によつて遂に昇天して了ひ、孤兒の命は救はれ、爾來村民の惱も無いやうになつた。」

▲人身御供に佛教の影響

右の話も一個の神話、傳説であるが、前に述べたアブラハムの噺と同樣に、人間の宗教及道德の意志が最早人身御供の殘酷に堪へない丈に進歩し、殊に此時已に佛教の慈善博愛の精神が布及して、此の殘忍なる人身御供を止めさせたと云ふ意味並に徑路が現はれて居ります。

此外美作國に一は猿一は蛇の爲めに人身御供を供た事が、確にあつたので、其の痕跡は今尚土地に殘つて居ります。

之れと同一の噺は西藏にもあります。印度から西藏に佛教が入つたのは唐の時代でありますが、當時の西藏の宗教は一種の靈鬼崇拜の幼稚なもので、人命を犠牲とする位は何とも思はぬやうな有樣でありましたが、密教の高祖が佛教を西藏に傳へると同時に、遂に人身御供の惡習を廢して人形を以てこれに代ふることに致しました、我國でも野見宿禰か土偶を造つて人に代へたことは皆樣御承知の通りでありますが、兎に角日本も西藏も同じ徑路で佛教が文化の上に影響を及ぼして居ることがよく判ります

▲人の代りに穀物

偖て人間の代りに動物を犠牲とすることも尚殘酷である。血も流るれば叫びもしやう。それで、印度では動物の代りに此度は植物を用ふることになしました。印度で、或る時人間を犠牲として神に供へやうとしたとしたらば、其の人間の靈魂が飛んで馬に入つたので、其馬を殺して靈魂を取り出さうとすると、今度は又牛に入り、牛から之を取り出さうとすると羊に移り、それから山羊に移つて、遂には地中に入つて了つた、そこで地面を掘つて見ると、其處には靈魂が米と麥との形になつて現はれて居ました、それで米麥を供へて神を祭ると、人も馬も牛も羊も山羊も皆之を犠牲として祭るのと同じ功德があると云ふので、遂には穀物を神に捧ぐるやうになつたと云ふ傳説があります。此の傳説に於ても、始めには人の血を流して神を祭つた人々が、動物を以てするも猶殘忍であるので、遂に殘忍ならざる植物を以て之に代ふる事となつた、其の徑路が現はれて居るのであります。

▲社寺の繪馬

我國の神社や佛殿などには、よく繪馬が上げてありますが、之は昔時馬を犠牲として神に供へた遺風で、此外頭髮や爪などを捧げるのも亦同じく人身御供の遺風であります。

▲谷子爵薨去 本會顧問として多年熱烈なる盡力を本會の爲めに致されたる子爵谷干城氏は久しく病症に惱み永く昏睡狀態に陷り危篤を傳へられしに去月十三日午後五時半終に薨去されたり、子爵は明治十年西南の役に熊本鎭臺の主將として籠城の任を全うせられて勇名あり十八年内閣官制の發布せらるゝや最初の農商務大臣となり二十三年帝國議會開會以來は常に貴族院議員として國家の爲め厚く至誠奉公の道を盡されたるが今や天壽盡きて薨去せらる轉た痛惜の情に堪へず。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

招かれし歐米家庭のいろ〳〵

河井道子

私は滿一年半ばかり歐米を旅行して參りましたが、其間ホテルに宿泊りましたのは、僅か一二週間程で、其他は殆んど學校や家庭に起居致して居りましたので、可成澤山彼方の家庭の模樣を見聞きする事の出來ましたのは、私の爲めに非常な幸福であたと存じます。

▲研●究●心●深●き●英●國●婦●人●　其間に種々と感心致した事も大變に多う御座いましたが、中にも英國の御婦人には特別感じた事が澤山あります、其一つを擧げますれば、彼國の若い婦人方は申すも無く、老人の方々でも常に新しい學問に志て、時勢に遲れぬやう心懸けて居られる事で御座いまして、其の熱心の程は誠に感服の外はありません、或る夫人の如きは、今年九十二歳におなりの盲目の叔母樣と、耳の聞えぬ妹御の御世話をして、苦しい心を少しも御現示にならずに、一生を隱れたる犧牲の爲めに捧げて一心に働いて居られますが、又大變な日本好で、其苦しい間にも日本の片假名などを獨習で研究して被居います。

▲禮●儀●正●し●い●敎●育●　又、一般に英國の婦人は地味で禮儀の正しい方が多くて、例ば下婢などを使役に致しても極めて丁寧に親切でありますから、子供迄も下婢に物事を頼んだ折には、後で必らず難有うと禮を述べる位でありまして、若し禮を云はないと、御母樣が『何か御忘れになつて居るでせう』と注意をなさいます。

そしてお叱りになる時には、決して他人の前で仰有らずに、人に知らさぬやう別室に招いて、靜かに訓戒をお與へになると云ふやうな有樣で御座います。

我國では、往々下婢などを無暗と眼下に輕蔑して、全然奴隷かなんどのやうに追ひ使ふ家庭もあるやうに見受けますが、これ等は誠に宜しくないことであらうと存じます。

▲瑞●西●の●子●供●　スウヰツランド邊りでは極めて子供らしい馴れツこい習慣があり、又規律が正しくて他人にでも却々親切で御座います。此國で、私が或る大學敎授の家庭に寄寓中、其所に二人の子供がありまして、私を見ますると直に二人共何處へか引き込んで、暫時見えませんでしたが、軈て二ツの人形を持つて出て參られました、見ると夫れは先年私が日本から送呈た品でありました。此子供達の叔母さんは人形等を澤山に持つて被居ますが、子供達が人形を貸して被下いと申しますと、叔母さんはお前達の好なのをお使用なさいと云つて御貸與になり、汚してはしけないとか、丁寧にお使ひなさいとか云ふやうな事は決してお言ひになりません。何故かとお尋ね致して見ますると、子供も相應に信用してやらねばなりませんと云ふ御返事でありました。

▲亞●米●利●加●でも、度々家庭を窺つて見ましたが、兩親が子供を信用し、又約束を守つて、多少忙はしい折でも、子供が一緒に遊んで被下いと申しますと、十分間なり十五分間なり子供と約束致して、其間一緒に面白く打遊ばるゝと云ふやうな有樣で御座います、其他極めて規則正しい敎育が行はれて居ります。

▲不●活●潑●な●佛●國●の●子●供●　一番活潑でないと存じましたのは佛蘭西の子供達で、そして割合に大人びて、よく氣が付かれます。私が或家庭に居りました時に、其家に九歳になる男兒がありましたが、此のお兒が私に佛蘭西語を敎へてやると云はれますから、喜んで敎を受けますと、私の發音が惡いと云つて大口開けて熱心に敎へられる樣は到底子供とは思はれませんでした。此國は一體に非常に子供に敎育を注入する處で、學校の授業も朝の七時半頃から午後四時迄ありまして、學校から歸ると、お八ツを戴いて直ぐに復習と豫習に取り懸り、遊ぶ時でも他の國の子供のやうに子供らしく遊び廻つて遊ぶといふことよりも、室内で靜かに印紙の勘定でもして居ると云ふやうな有樣で、此國には一般の子供に然う云ふ傾向があるやうで御座います。(フレーベル會にて)

●美人

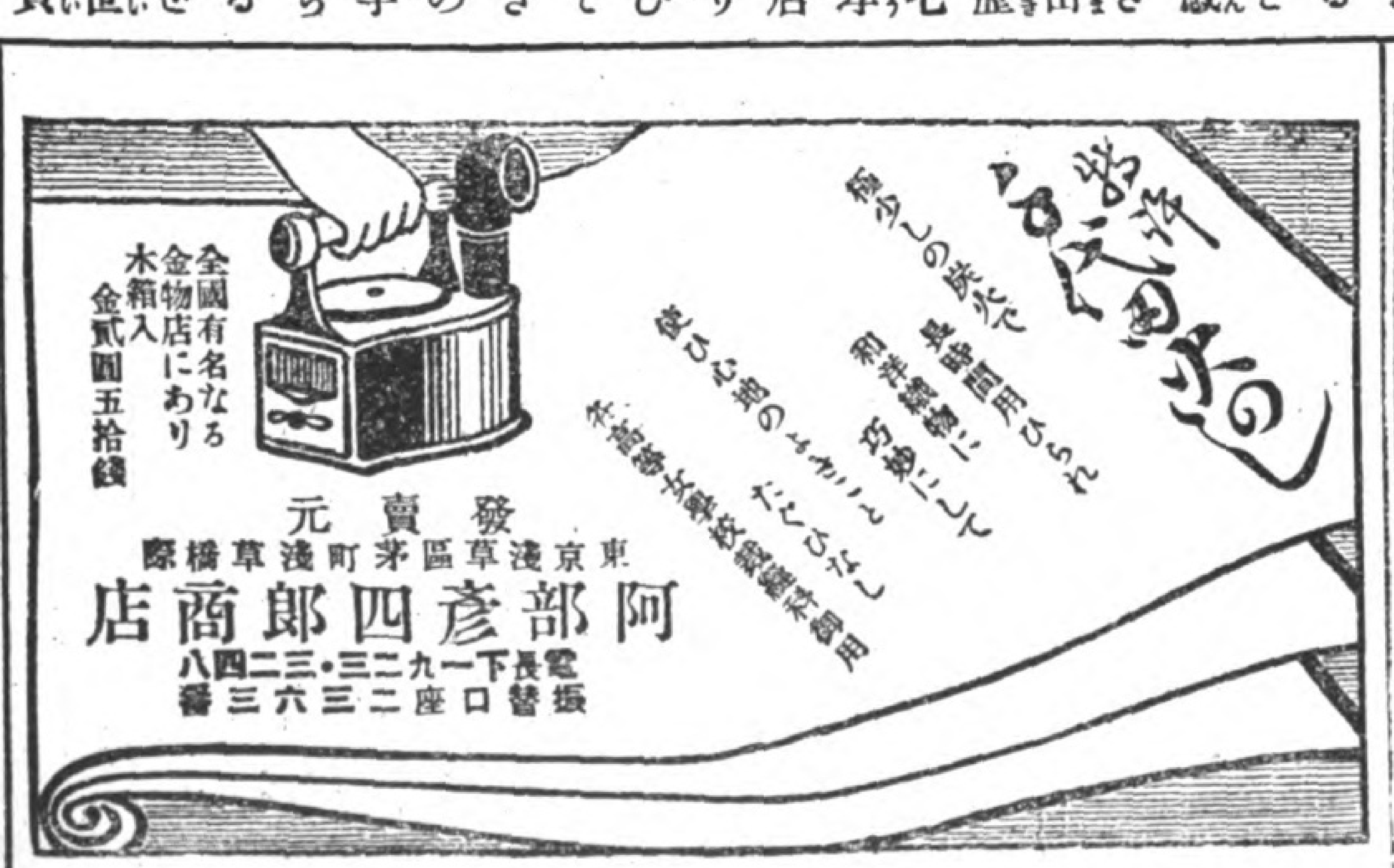
二十ばかりの美人が渡船場へ來て、五厘置いて船へ乘つた。「モシ〳〵お前さん渡船錢は一錢ですよ」「妾は眞中で身を投げます」

香しや山櫻

▽軍●人●未●亡●人●新●潟●の●烈●婦●丸●山●八●重●子●の●貞●節▽堀内大佐記念品を贈る

新潟縣中頸城郡菅原村故喜三郞未亡人丸山八重子は昨年九月當地に開催の斯民會大會に於て表彰されたるが今又去月十四日菅原村小學校新築落成式に臨席の第五八聯隊長堀内大佐は親しく八重子を引見して記念にもと自ら携へ行ける扇子及帛紗を手授し其貞德高きを推稱措かざりしが同扇子は大佐が特に八重子に贈る可く書伯片山文邦氏をして山櫻の優に氣高きを描かしめ大佐自ら之に賛して『春每に香を增すや山櫻』の一句を書加へ暗に當人を激勵し軍人未亡人として始終婦道を完からしめんの意味にて贈られたるもの又他の帛紗は曾つて大佐が愛國婦人會總會の折記念として畏くも總裁宮殿下より拜領せる尊き品なるが此を手にしたる八重子は己が孤獨の半生と亡夫の餘德とを顧み且は大佐の溫情ある稱辭に今更感慨に堪へざるものゝ如く暫し言葉も出でざりしと云ふ、此大佐が推稱措かざる丸山八重子とは抑如何なる婦人ぞ、今其履歷を記載せんに八重子は去廿六年、年十七歳にして夫喜三郞に嫁ぎ舅姑に事へて孝道怠らず夫を助けて家庭の輯睦を圖り居れるが一年ならずして偶日清の役あり夫は召集されて戰線に加り硝煙身を害ひて惡疫の犯す所となり哀れ異境に在りて他界せるが八重子は夫の留守中尙年若き身をそらにて能く家事萬端を司り内顧の憂なからしめたるのみか夫病死の報を手にするや心を決して亡夫の名を傷けざらんことを期し人の他に再嫁すべきを奬むる者あるも婦道二ある可らずとて是に應ぜず自ら寡婦として故亡夫の跡を弔ひ餘世を送るべしとて建氣にも益婦道を盡し貞節を守り鄕黨其德を稱せざるなかりき、此時八重子年十九歳なりき、爾來春風秋雨幾度か回りて八重子の操愈固く其名弘く知られ、實に軍人未亡人の龜鑑と仰がるゝに至れるなりと。

凱旋サイダー



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

茶ばなし

夏子

（三）問ふに落ちず語るに落ちる

今は昔、ある男が後妻を迎へて、婚禮の夜なり、儀式も濟みて二人差向ひとなつた。亭主つく〴〵と女房の顏打守りて、亭主『お前は今年幾歳になりやつた』と問ひ、女房『はい恰度四十でござりまする』亭主『はてな、媒人口では三十ぢやと聞いたが、四十と云やるのも、ちと覺束ない樣だ、ほんとに幾歳におなりだ』とたびたび聞いても、やつぱり四十と答へる。亭主『なるほど左樣もあらふか』と首肯いてゐたが、急に何か思ひ出し、亭主『あゝ左樣だ！』と慌てゝ起ちあがるので、女房は肝をつぶし 女房『どうなされた！』と問ふ、亭主『いや、宵のどさくさに紛れて鹽壺の蓋をすることを忘れた、鼠が喰ふといけないから、直して來よう』女房は吹きだして、女房『まあ飛んだことを！私も此年齡になりますが、鼠が鹽を喰べたといふことは、六十年このかた、ついぞ聞いたことがございません！』

（四）子守歌

各地に行はるゝ子守歌には、平易な文句の中に、優しい愛情の籠つたものも澤山あります。沼津地方に行はるゝものゝうちに

坊やは好い子だねんねしな。この兒のかあいさ限ない、山での木の數、茅の數、天へのぼつて星の數、沼津へくだれば千本松、千本松原小松原、松葉の數よりまだ可愛い。

といふのがありますが、さる奥樣は、この子守歌を、左の如く作りかへて歌ふて居なされたのをきゝました。

坊やは好い子だ、ねんねしな、この子のかあいさ限りない、須磨の浦曲の砂の數、舞子の濱の松の數、松葉の數よりまだかあい。

かあい〳〵で日を暮し、夜を明石の蜑が焚く、鹽の烟の絶えまなく、この子を思はぬ時はない。

文學といふ眼からは、價値の無いものでありませうけれども、すまとすな、まひことまつ、あかしとあま、など語つゞきがよいので、子守にもおぼえ易く、例の暢然した節でうたふてゐるのをきゝますと、何となく長閑な心持になります。子守歌の研究などゝ六ケ敷いはなくとも斯樣なところから改良していつたなら、造作もなく成功せらるゝことゝ思ふのであります。

投稿募集

家政の實驗談 育兒の實驗談 を募集致します、家事經濟の執り方、臺所の注意、下婢の使ひ方、洗濯の爲方、漬物の漬け方、品物の保存法、子供の躾け方、子供の衣服の造り方、おしめの取扱ひ方、添寢の歌や子守の歌、子供に讀ませる書籍の注意、其の他苟も家政と育兒に關し、有益と思召す事でも、有害と思召す事でも凡て實際に御經驗の御話が承りたいのであります。文體は如何でも、唯別りさへすれば宜しう御座います、端書でも封書でも差支ありません。續々御投書を祈ります。

愛國婦人發行所

▲山形支部移轉　去月八日山形市大火の際愛國婦人會山形支部も亦類燒の厄に罹りたるより不取敢

山形市七日町字寺町正願寺

へ移轉したり

季節料理

▲旨煮（海鰻慈姑筍）　海鰻は背より庖丁を入れ背開きとなし頭を去り中骨と鰭とを取捨てゝ薄鹽水にて洗ひ燒網の上に載せ落着いた烈火にて白燒になし好き程に切り味噌醬油にて落蓋をして煮る、慈姑は皮を剝き好き程に切り水にて能く洗ひ熱湯にて茹で、筍も同じく皮を剝き軟かき部分を選び熱湯にて茹で水中に浸してアクを拔き斜に亂切になし慈姑と共に煮出汁、醬油、砂糖にて落蓋をして煮上げ、小丼鉢に慈姑と筍とを盛りその上に海鰻を並べ、鹽水に浸け後清水にて注ぎたる木の芽を載せて出す

▲吸物　松魚を五分位の賽形に切り、玉葱は上皮を剝ぎ捨て、上下を少し切り落し、竪に薄く切つて水にて洗ひ、目笊に入れて水氣を切り、鰹節に煮出汁を火にかけ、一度煮立てゝ吸味加減に醬油を注し、右の材料を入れて煮椀に盛り、生姜の搾り汁を少し垂らして出す。

雜錄

◉色に表はるゝ性質

▲婦人の年齡に關係せる色の嗜好

嗜好の色は其人の性情を表はすといふことは爭はれぬ事實である普通一般の色の嗜好標準は十歳から二十歳迄が赤である赤色は即ち濃艶にして熱烈なるを示すもの十七八歳の青年女子の性情に見て頷かれるのであらう二十歳から三十歳迄は紫で紫は萌え出ろといふやうな色である三十歳以上四十歳になると茶色が好まれる茶色は派手の如くにして覇氣あることを示す四十歳以上五十歳位迄は綠色が歡迎されるは氣の靜なるを示すので之は五十歳以上になると黃色になる黃といふ色は俗氣を離れ種々の色に飽きて白に入らんとする前であろ愈々六十路に入れば解脫し白を好み七十に達すれば黑を嗜むやうになる黑は陰氣にして總ての慾を去つたといふ即ち無意無識の意味になる故に社會主義者の赤旗救世軍の赤帽は熱誠を表はし僧侶の黑衣は邪意を絶てることを表はしたものである五十になつても赤を好む人は矢張り性情の熱烈なる人で二十代にして綠色を好むは性情の沈靜なる人といふやうに判斷して差支ないこれは標準色の嗜好の事で流行色の嗜好は又格別である。

●新婦人の大發展　優美なる女性的雜誌のオーソリチーとして好評を博せる新婦人は、口繪寫眞記事等に大發展をなし發刊以來日尚淺しと雖も婦人の侶友家庭の讀物として賣行盛なりと云ふ

凱旋サイダー

舶來簡易殺鼠劑

Common sense Exterminator.

登錄商標

代價　半オンス入 五拾五錢　一オンス入 壹圓　三オンス入 貳圓九拾錢　六オンス入 五圓六十錢　一ポンド入 拾壹圓

原名　コンモンセンス、エキスターミネートル

●本劑の効力に就ては發賣以來旣に諸官衙を初め一般使用者の實驗に依り古來未曾有の殺鼠劑として大なる好評を博せり而して半オンスの藥劑は優に百頭以上の鼠族を斃すに足るが故に從來の殺鼠劑に比し廉價にして且つ本劑は他の藥品の如く使用上復雜なる手數を要せず又更に危險の虞なし

●現品には詳細說明書を添付す

蠶具製絲諸器械詳細圖解目錄無代進呈

東洋一手發賣元　東京市下谷區仲御徒士町三丁目五十九番地　日本蠶業株式會社藥品部　振替東京五一二六番●電話下谷一二五四番

一日發行　六月號　一冊定價拾五錢　送料壹錢半

女子文壇

〔要目〕幸福な時代に生れた女學生（遠山稻子）●自己を尊重する米國婦人（樹枸）●實力と虛榮心（德川伯）●神の愛に全身を捧ぐ（大關ちか子）●茴香の芽と心（太田喜志子）●おてんば日記（內藤千代子）●自覺（覆面女）●贅澤（吉井勇）●番町日記（山田邦子）●苦き心のあやまち（ほとゝぎす）●柳の前後（花外）●短歌の評釋（楊谷）●人間の生命と食物（澤田順次郎）●快晴（酔茗）●女の勝利（水野葉舟）●法友會の席上に於て（森田草平）●創作滿載▲竹久夢二倍大奉書紙板摺口繪珍無類

東京京橋　女子文壇社發行

地方青年團體機關雜誌

良民

定價一部金四錢（郵稅共）一ケ年前金四十二錢　郵券代用一割增（但壹厘切手）　每月一回十五日發行

一 本誌は地方青年團體の指導者が手にすべき雜誌にあらず地方青年自身が自ら手に取りて讀むべき雜誌なり。

二 本誌の內容は題名の「良民」の二字自ら之れを示すものあるべし。

三 思ふに地方青年が常に一二種の雜誌を手にするに至りなば指導者の勞力は爲に幾分か之れを省かれ得べきなり。

四 青年團體の隆盛を以て名高き廣島縣沼隈郡にありては『初めて青年に適當なる雜誌出でたり』とて郡內數千の青年會員が擧つて本誌を手にするに到らんことを郡青年會頭は此程三十個町村青年會に對して通告せられたりと聞く。

五 本誌は今僅に五號を出したるのみされど其根柢の甚だ深きものあるを自ら言はんと欲するの情に堪へず。

六 地方青年團體に對して最も穩健なる雜讀物を供給する事は實に目下焦眉の急務なり

發行所　東京市麴町區麴町二丁目二　振替東京（洛陽堂二〇九一四）　良民社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

世界で最も好い衣服を御着けになる御婦人はミシンを使用なさる御方で世界で最上のミシンはシンガーです

皆様は御自宅でミシンを無料で使用なさることが出來ますシンガーのミシンでは如何なる日本服でも縫ふ事が出來ます

これより外に時間が短かくて、價が安くて、綺麗さの加はるものはありませぬ

弊社には熟練した女教師が居りまして種々使用法や御注意等を無料で教授いたします

何卒御最寄の弊社分店まで今日御註文下さい

弊社の分店は

東京市京橋區尾張町二（電話新橋三四六六）
大阪市心齋橋筋（電話南九九六）
京都市三條通り柳馬場
神戸市北長狹通り
横濱市吉田町壹丁目
名古屋市西區玉屋町
廣島市細工町
福岡市橋口町
仙臺市名懸町
札幌區南一條西五丁目

其他日本全國到る處の市や町に御座います

横濱市山下町二十三番地

シンガーミシン會社日本中央店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

『雲雀』

—坂正臣先生選評—

天　横濱市辨天町通四ノ八五　鈴木まつ子

露に耳なれしみもまたさらに
ひはりの聲を長閑しときく

(評)よきれもあく時ありさしもなき聲もめづらしきは耳かたふけらるゝは人情にこそ

地　播磨國宍粟郡菅野村　長田あき子

春の君のかへりおそしとまつかとの
麥生におつる夕雲雀かな

(評)させるふしは侍られど女とあるなつかしき姿あらはれたるがめでたし

人　臺灣臺北城内撫臺街二ノ六五　浮洲德子

空たかくなけと雲雀ははるの野の
わか巣の上をはなれさるらむ

(評)鳥のこゝろさもありなむとおもひやらる

佳作

霞さへみどりに匂ふ麥畑におちつあがりつ雲雀なくなり　岡山　森島古野子

高くとひ低く霞をわけいでゝさやけき聲になく雲雀かな　大阪　木村華子

朝ぼらけ霞やたつと大空を仰げば高く雲雀なくなり　岡山　谷　とめ子

四方山はかすみこめつゝひばりなくこゑのみ高きあさぼらけかな　豊橋　平松いと子

あつさ弓春は心の浮立つか雲に聲ある夕ひばりかな　芝　土師利根子

やよひばり空にあがらば見てよかし岡のあなたのさくらさけりや　近江　石井田、露江子

君と共にひばり鳴く野にそゞろありき樂しとみつるゆめさめにけり　日本橋　鈴木榮子

果てもなき雲井の春を獨りしめて歌ふひばりのうらやまれけり　岩代　小川しん子

さきつゞくすゞなの花の香に醉ひてはた中くればひばりなくなり　岐阜　野村なか子

霞のかけいつしかきえし朝空に長閑さ添へて雲雀なくなり　石川　藤野忍子

すみれ咲く野邊よりいでゝ大そらのかすみかくれになくひばりかな　京都　白百合子

夕ひばり雲よりおつる聲きゝてとこにまつ子やうれしかるらん　岩手　渡邊豊惠子

はるのひの光りのどけき大空をいそがはしくも鳴ひばりかな　豊橋　都築悦子

曉の雲雀の聲に目覺むれば窓よりかをる野路の菜の花　兵庫　三畑たか子

麥島耕へし了へて夕日影見送り居れば雲雀なくなり　岩代　長谷川吉野子

菜の花にわりこ開けばあけひばり霞の中にうらやみてなく　大阪　北林琴枝子

朝つゆにつばさぬらして岡のへにこゑのどかにもなくひばりかな　美作　西村清子

春の野にたちて雲雀の聲きけば我も雲井にある心地せり　麻布　須子

根せりつむ野川に影はしづめどもなくれは高きゆふひばりかな　千葉　土川靜子

雲に入りかすみに消ゆるあけひばり天のみ神に寧やつくらむ　丹後　室谷ひさ子

聲たてゝあがるひばりも子を思ひ草葉の床をまもりけるかな　神奈川　足立原とく子

この下に床やしめけん麥はたのまそらにたかくひばりなくなり　岡山　西村長子

何ごとを春の女神につくならん雲井はるかにあがるひばりは　愛知　山内經子

すみれつむをとめの姿見おろして霞がくれになく雲雀かな　赤坂　清水まつ子

麥畑の中を宿にて空たかく雲雀は身をばのぼせてそなく　日向　やました

のどかなる春の廣野をきてみればひばりのほかに聲なかりけり　北海道　五十嵐とく子

和かき風に雲雀のたちのぼり雲井をしめてこゑたてにけり　越中　川崎政子

若草の萌へ出でし野邊に空高く時を得顔に鳴く雲雀かな　靜岡　齋田とめ子

▲遠江山下彌生子樣

▲備中足間林秀子樣、賞品御送り申したきにつき至急御住所御一報下さいませ(係り)

▲俳句　都合に依り本號休揭

▲愛國文苑▼

⊙和歌　坂正臣先生選
蚊遣火(六月十日締切)　水邊納涼(六月廿五日締切)

⊙和歌　佐佐木信綱先生選
海水浴(七月十日締切)　風告秋(七月廿五日締切)

⊙俳句　内藤鳴雪先生選
納涼(六月廿日締切)　蚊(七月五日締切)

賞品
和歌＝天賞……日月帖一部　地、人賞…本會記念扇子一本宛
俳句＝天賞……七草輪葉書ブツク　地、人賞…本會記念扇子一本宛

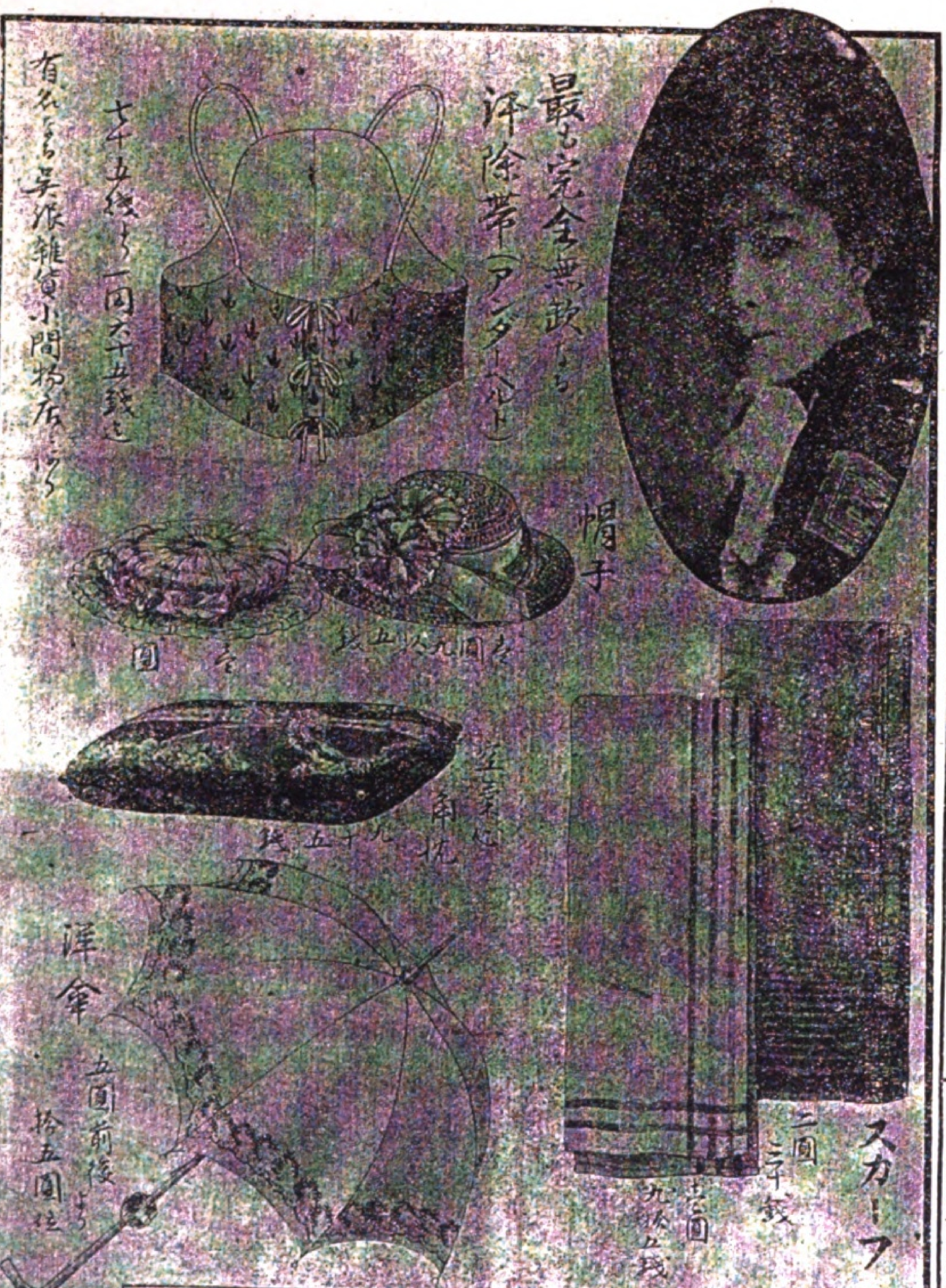
▲愛國文苑▼

むかしく〜親父も川へと涼み哉　也有

一尺の瀧も音じて夕涼み　一茶

孑子の水や長沙の裏長屋　蕪村

御佛にかぢりつきたる藪蚊哉　一茶



貴婦人及小供用品專賣
東京新橋　関口洋品店
電新二〇九二番　振替八〇九三番

日本橋區元大阪町八番地

高木與兵衛

凱旋サイダー

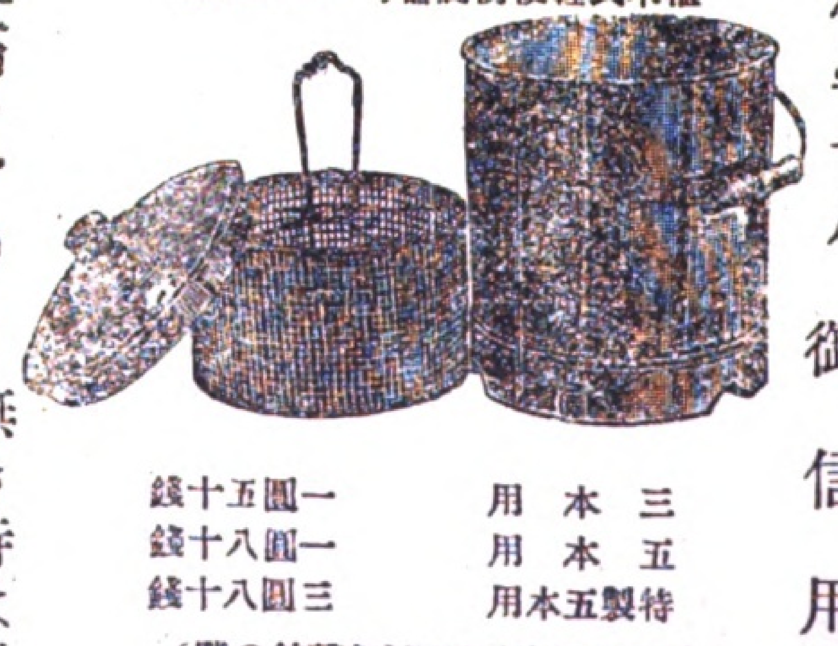
▲新築されたる錦輝館　東都の一名物神田錦町の錦輝館は京都横田商會の所有に移り過日大に改築して壯麗絶美東洋第一の活動寫眞常設館と化し昨來平日は午後五時より土曜日曜及祭日には午後一時より晝夜二回に開會中なるが場内の整頓は勿論映畫の新奇拔なると餘興としての西洋人の舞踏演劇等が大評判にて日々大繁盛を極め居ると。

シヤンペンサイダ
製造元　澁谷

嫁入道具
京都
大伴タンス問屋
電三五八。

有栖川宮　竹田宮諸邸御實用
專賣特許
(植木式)
簡便哺乳器
完全消毒壜
輕便防腐器
各地有名藥店醫療器械店にあり
無き時は引換小包送付仕候

一號　三十錢
三號　廿五錢
四號　廿二錢
一號(劑度付)　十五錢
二號(無度)　十二錢



植木式輕便防腐器(ニツケル製)
三本用　一圓五十錢
五本用　一圓八十錢
特製五本用　三圓八十錢

諸醫學博士御信用

東京神田表神保町(新聲館の隣)
乳器問屋　植木商店
電話本局三七五六番　振替口座東京六二九一番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

講談

宇都宮孝子傳

（八）　大島光利口演

志摩守殿目に角立　殿『圖書先んずれば人を制すぢや先方より懸合來たれば此の方が後手ぢや、夫故市兵衛を差送ると極たのおやから、是は成行に任せ置け　圖『ハ、斯くまで申すとも御聞入れなくば詮なし、千八百石の大祿を頂き親の代より城代家老を相勤め居りしも圖書の代にて御暇を願はねばならぬ今日只今御暇を願ひ奉ります　殿『ウン其方は永の暇を乞ふか　圖『ハ、五湖に棹さし遠き島根に遊びし唐土の故事、今は我が身につまされて家族引連浪々いたす心底に御座います、云ひつゝ一同に對ひ　圖『偖各々拙者は浪人いたす心底、御同意の方は居らざるかと見渡したは今で云へば同盟罷工、ストライキの催促、城代家老が殿を諫める計略かと思へば一同言葉を揃へ　○『御同意で御座る　△『御同意、後に當つて御同意と小さな聲で云ふ、殿は顧眄へば御刀持の御小姓が柔き聲にて御同意と云ふ、殿は大に驚いて、ハ、此奴までも暇を乞ふか、シテ見ると十目の視る所十指の指す所、殿なり、これは下手人は少し違ふて居ると見えると、芋の蔓へたも御存じなき御大名始めて御後悔　殿『圖書、暇願ひ待てヨ下手人の儀は思ひ止るぞよとの仰せに張詰たる勇氣も折て思はず圖書は底頭平身　圖『御諫言御聞届け下さる段難有存じ奉ります、夫でこそ寺澤家の御武運長久萬歳を祝し奉りますと云ふ内に長座の勞れ、息迫って働と前へ倒れる　○『ソレ典藥と云ふ、御殿醫來たつて介抱なす只居並びし御家來方は如何なるかと圖書の容子にキット目を注ぐ張り詰し勇氣も折て城代寺澤圖書一時悶絶いたしました寺澤志摩殿も驚き、ソレ醫者を早くと早速典藥所罷り出で圖書の容體を診察いたす、持病の疝癪一時に發し夫が爲に昏睡狀態に陷入たりと云ふ、一同に打寄て介抱すれば漸々に苦き息をホット吐御前の方をヂット見るより驚いて手を突て　圖『コワ君前も憚からず取亂したる不禮の振舞何をも申上げなきやうなき次第恐れ入り奉ります最早御醫師方御手當には及びません、主君前非を覺り給ひ、我々の微忠を酌取られたるは本人市兵衛は勿論一家中の幸ひ難有御禮申し上まする　殿『オ滿足ぢや、其方も老體である大事にせよ　圖『ハッ、平伏する内に近習引連れ志摩殿は其儘奥へ御退座に相成る、今迄は主君の手前を憚り一同拳を握り容事を見て居りましたが、主君御退座の後は市兵衛の不幸を慰めいろ〳〵力を添て居りまする、折から御近習頭岡部新三郎其席へ出まして　新『只今主君より改めての仰せ渡され、實に圖書の申する通り市兵衛は太平の武士として類なき大丈夫、惜き家來にはあれど、さわらぬ神に祟りなしと云ふ、此儘當家へ置時は島津家より何樣の談判來たるも知れぬ、依て家祿取上げ永の暇申し付る、心靜に當城下を引拂へとの儀に御座いまする、聽て一同ハッと驚き岡部新三郎の顏を凝視る、圖書は片頰に笑を含み　圖『ウン筑紫氏な手前は未だ武運に盡ざるぞ、下手人の災を脫れ主君より永の暇となる主從は三世とあるが、罪なくして主より暇を賜はる、恐らくば爲すべなからん、昔の歌にもある、世の中を渡りくらべて今ぞ知る、阿波の鳴門に浪風もなし、喃筑紫氏忠孝仁義を忘れず武道を練磨し、主家に仕へなば、何處に參るも人情に變りはない、只御手前は老母を抱へし身の上、殊に御身の母は夫存生の砌りより心雄々しく、市左衛門殿戰場に討死なしたる以來孤閨を守り御手前を一人前の武士に育てたる天晴れ女丈夫、婦人の模範と人擧つて噂なすぞ、今は老ぬる身の上、折角介抱いたし老後の樂みを與へられよ、市兵衛兩手を突へて圖書始め一同の容子を窺ひ　市『ハ、數ならぬ私に斯まで御懸命を賜はるは武士道に取りて此上の喜びやあらん、忠孝を固く守り仁義の道を踏違へず正義公道を求めて良主を選んで宮仕へ、只二君に仕へるの心ぐるしさ、罪身なればイザ知らず母を抱へし身の上御賢察を願ふ。

米山サイダー

宮内省御用達

米山サイダー
米山オレンヂ
米山レモナード
米山ジンジヤ
米山ソーダ

製造元 東京九段下 米山合名會社 電話番町一六六三番

登録 商標

最新四季の好飲料

歐米各國に於て一ヶ年一億萬本の需用ある

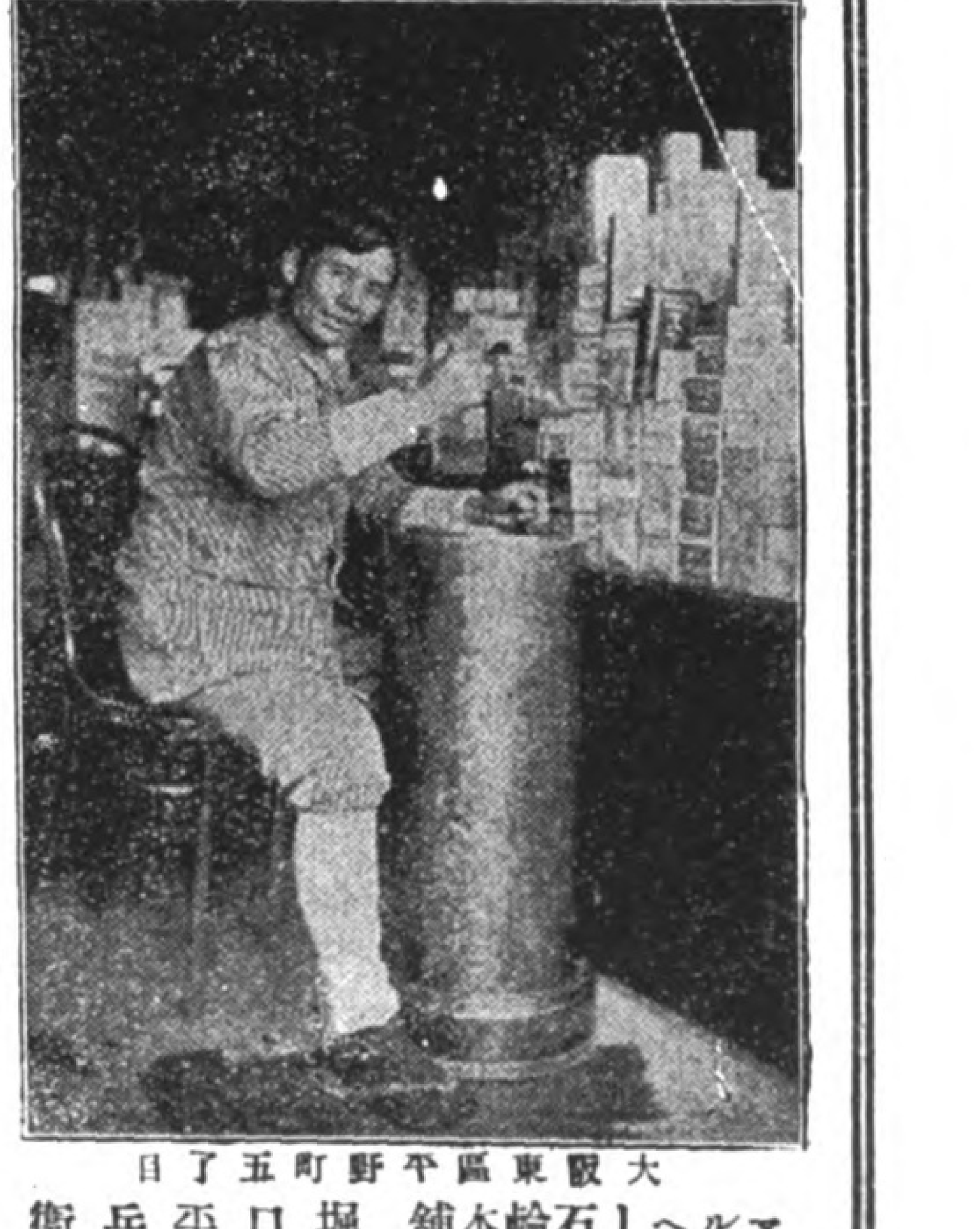
シナルコ

原料は獨逸國ビルツ博士の發明せる新鮮なる果實汁にして三ツ矢特有の平野水と天然炭酸瓦斯にてこしらへた最上等の衛生飲料なり…

ニキビそばかすにて苦悶者は藥學界の泰斗藥學士藤本理先生が半生の心血を注ぎ發見せられたる特種の奇藥クウルーを使用して速に苦悶を脫せよ但し本剤希望者は本剤購求前又は同時に本剤の說明書を要求せられ其特効たるを確認の上使用を乞ふ⊙藥價輕症用五十錢送料市内四錢地方八錢清朝臺灣卅錢

東京本鄉切通坂町卅四番地 長田伊平 振替口座東京貳壹貳五番

石鹼も色々ありますがおためしなさい此マルヘー石鹼を如何なるあれ性の方でも大丈夫御安心なされ御膚の守りとなりますマルヘー石鹼 一個廿五錢 三個入七十錢



大阪東區平野町五丁目
マルヘー石鹼本舗 堀口平兵衛
振替口座大阪八一四一番

凱旋サイダー

ちゞれ毛くせ毛 毛はへうけあい 二大奇方

本法は女髮結師安部歌子女史の多年實地研究したる秘法是迄の使用者を悉く滿足せしめたる一大奇法なり照會者は往復はがきにて申込あれ

東京麴町區三番町六七 小林濟世園

京都夷川河原町 宮崎タンス 電一八二〇番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

醫院案內

小兒科 赤坂區青山南町三丁目 醫學士 **石塚保吉** 電話芝三四七四番

産科婦人科 小兒科 牛込區納戸町三六 電話番一〇四〇番 **野中醫院**

産科婦人科天本醫院 下谷區仲徒町二丁目卅五番地 院長 醫學士 **天本治** (入院隨意) (電話下谷二二六六九)

◎産科。婦人科 ◎内科。小兒科 **森種太郎** 小石川西江戸川二六 電話番町(一四二六)

腦神經精神病 院長 ドクトル 醫學士 齋藤紀一 醫學士 田澤秀四郎 望月温象 電特芝二七四五 芝二六六五 東京赤坂 青山病院 **帝國腦病院**

醫學博士 榊順次郎 醫學士 久保徳太郎 醫學士 田代謹二 毎日午前診察 日曜水曜午後 婦人科的外科 火木土曜日午 泌尿器病及内科 ●施療火木土午後自一時至二時 ●施療妊婦産婦ヲ取扱フ **婦人科産科 榊病院** 麹町區三番町三三(電話番町三〇三三)

◎**小兒科** 殊に營養障害 淺草下平右衛門町十七 **内山小兒科醫院** 院長 ドクトル メヂチーネ 内山好十 (電下二參六五)

内科一般 東京神田區美土代町三丁目十七番地 午前宅診 午後往診 **板垣亭**

内田病院 淺草區新福井町二(瓦町電車停留場際) 病院落成に付隨時入院の需めに應ず 小兒科專門 院長醫學士 **内田愼太郎** 副院長 醫學士 **瀧原五郎** (午後診察) (電話下谷七一八)

◎**産科婦人科** 芝明船町十九虎門外 電話芝二六四二番 **櫻井克巳**

濱町病院 産科 婦人科 日本橋區濱町三丁目七番地 電話浪花一六〇番 院長醫學士 **小林八十七** 醫學士 大瀨貴明 醫學得業士 杉原格藏 醫學士 佐野綱次郎

腦神經精神病科 東京龜戸町電話浪花二五五二 **加命堂腦病院**

岩佐病院 日本橋區蠣殼町二丁目廿三番地 (電話浪花六七九番) 診察時間 自午前九時 至正十二時
内科婦人科 院主 岩佐純
内科 院長 ドクトル 岩佐新
外科 醫學士 山村正雄
産科婦人科 醫學士 佐久間兼信
腦病脊髓病 醫學博士 土田卯三郎

◎**産室增築落成** 日本橋區濱町貳丁目十一番地 **産科婦人科稻生醫院** 電話浪花三三四三番

内科診察 宅診午前及夜間九時迄 往診午後 麹町區四番町四番地(電話番町貳三八四) 醫學士 **中山敏樹**

院長診察、月、水、木、金、午前、入院、診後應需、松田、林、峰間三副長ハ目下當院ニ在勤 **東洋内科醫院** 東京神田區駿河臺鈴木町二番地 (御茶水橋附近) 電、本八八八番(病院用)八九八番(私宅用) 院長 醫學士 **高田畊安**

南湖院 神奈川縣高座郡茅ヶ崎町相海濱 (從停車場半里) 電、チカサキ二番 河野、高橋、兩副長ハ目下當院ニ在勤、院長診察土曜日午後、入院、診後應需、

耳鼻咽喉科 神田區美土代町一丁目十六番地 醫學士 **榊田義衛** 電話本局三一九〇

内科橋田病院 (錦町三丁目電車停留場側) ●隔離室設備(診察午前 入院隨時) 院長 醫學士 **橋田茂重** 病院 神田錦町三ノ一九(電本二三三九) 自宅 牛込甲良町一一(電番一九六)

○**産科、婦人科** 入院應需 …(診察時間)… 月、水、金午前 橋爪病院(浪花二六〇番) (日本橋區蠣島町一の廿九) 毎日二時ヨリ五時迄 自宅(下谷二四八七) 本郷區眞砂町十五番地 醫學士 **橋爪哲造**

産科婦人科 小兒科專門 四ツ谷左門町五番地 **佐伯醫院** 電話番町(二〇一六番)

○**婦人科○産科○** 飯田橋電車停留場脇 **中島襄吉**

◎**院長** ドクトル **木村順吉** 京橋卅間堀一丁目角(電話京橋一六七〇) **婦人科産科 木村病院**

産科婦人科小兒科 鷲山改姓 **女醫吉岡彌生** 診察時間 院長 毎日午前八時より 醫員 毎日午後三時より 内科部長 **醫學士武智基造** 診察時間 火木土午後壹時より 病室及産室の設けあり入院隨時 東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地 **東京至誠病院** 電話番町二二五七

凱旋サイダー

●頭髪の薄き、惡しき、拔毛に苦しむ 毛髪洗滌液 **ペトロール、ハーン**

は目下歐米到る處に高評嘖々たるものにして毛髪を濃厚にし、フケ拔毛を止め、光澤を増し且つ柔軟ならしむ、而かも馥郁たる香氣あり使用復永く快感を覺えしむ眞に神妙なる逸物なり

代價 小瓶一圓廿五錢 大瓶二圓 (各地有名なる化粧品店にあり)
横濱市山下町七十番 エー、ハイム商會

子宮病血の道自宅治療法

子宮病血の道の一般的の病狀と云へば、下こしけがある、腰が痛む、下腹痛む、下腹が張る樣な條張る樣な容體となり足が引つれて痛む、月經が不順となる又月經の時に下腹が痛む、頭痛がして逆上がする肩は凝る手や足が冷える、消化が惡い便通も惡い神經が過敏になる物事が氣にかゝる、過ぎ去つた事や取越し苦勞をして喜んだり怒つたり、何事も疲勞し易く嫌やになり、短氣となり氣不性で氣六ケ敷なる等其他種々の病狀が起つて來るのみならず此の樣な容體の婦人には姙娠せない場合が多いので、身體はアチコチ惡い何時治るか知れないので不快に月日を送る樣になる、可哀想に艶麗花の如き美人や花嫁が此苦痛を覺え小便は度々したい白帶下はある陰門の周圍はぬれて不潔で臭氣甚だしく子宮內膜炎を起し腹膜炎を續發して一命を失ふことがある、萬一九死の中に一命を拾ふことが出來ても紅顏の美人又見るカゲもなくしをれて、憂鬱症となり、ヒステリー症を起して落寞たる家庭に其身の不幸を泣き喞つ夫婦の多數なるは痛歎の次第である實に子宮病血の道とヒステリー病者程氣の毒な者はない、然るに世間には此の弱點に乘じ妻の病氣が治つた藥とか何處で發見したとか影も形もないことを云つて自己の粗藥を賣付けるものあるとのことだ、日々多數の患者が訴へて救を求めに來る賢明なる婦人諸君は此の樣な山師の甘言に迷はぬがよい

此婦人病の化學的治療法に就てはハガキにて東京市京橋區弓町二二大日本化學研究所へ申込みあれば症候や病理や治療法や不姙の原因等を詳述せる冊子を無代で進上しますから遠慮なく直に申込まれよ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

立教高等女學校長 神學士 小林彦五郎先生
家庭雜誌 家庭新報主筆 村田天籟先生
共著 最新刊

婦人修養と實際

定價九拾錢 郵税八錢 郵券代用一割增

外見の華美を衒ひ輕躁浮薄に流れ温良貞淑の美德を失はんとする婦女の多き今の世たれか情理を辨じ家政整理の任に當り夫をして内顧の憂ひなからしめ子女訓育の重責を全ふすべき良妻賢母を求めざる男子あらんや。茲に見るあり經世に志ある女子教育の大家小林彦五郎先生家庭研究の大家村田天籟先生兩氏の合議に依りて本書を世に公にせらる載する所

家政。婦道。教育。女禮。育兒。衞生。裁縫。料理。音樂。茶道。生花。等各編に亘り努めて平易に説き趣味と實益とを併せたるもの一は實際的社會生活の方面より家庭の指南者たり一は清純なる靈的方面より家庭の慰安者たらん殊に裝幀も高尚優美内容と外觀の美を備へたる近來絕好の著書なり

空前の廉價 四六判四百頁 十二度刷最美石版口繪 製本優雅

家庭の寶典 國家の健全なる發達は國民の元氣にあり國民の元氣は家庭の完備せるより生る

無比の裝飾 クロース和裝仕立○リボン綴斬新意匠 高尚優美○卓上裝飾○各家必備の寶典

發行所（東京市京橋南紺屋町一番地）（振替東京二〇五五四番）一星社（電話京橋一六一五）

兒童研究 畫報

婦人畫報增刊 五月十五日發行 定價卅錢 送料二錢五厘

畫報

- 表情の樣々……
- △思無邪……
- △世界各國の兒童
- 飛行機 和田英作筆三色版……
- △各國兒童負方と抱方
- △乳兒と哺乳器具色々
- 子守の遊び……
- △滑稽なる兒童の踊り
- △兒童日常のいろ〳〵
- いたづらの樣々……
- △動物愛護と家畜飼養
- △外國兒童の表情……
- 兒童發育狀態順序……
- △現代兒童和洋裝風俗
- △睦まじきはらから……
- 都會と地方と兒童……
- △孤兒院生活の兒童
- △體操と讀書と食事
- 世界各國人形樣樣……
- △兒童の書きし繪畫
- △盲啞の兒童と虐待兒
- 幼兒の抱方……
- △林間教授と胸式呼吸
- △粘土細工編物裁縫
- △玩具古今の色々
- 遊戲六十餘種

讀物

- ▲低能兒　乙竹高師教授
- ▲兒童姿勢　田代醫學博士
- ▲小兒病注意　瀬川醫學博士
- ▲精神薄弱兒童　三宅醫學博士
- ▲兒童の精神作用　元良文學博士
- ▲世界諸人種兒童　坪井理學博士
- ▲兒童心理の發達　高島平三郎
- ▲都會と地方兒童　下田文學士
- ▲兒童の趣味養成　倉橋文學士
- ▲不良兒童の防止　小河法學博士
- ▲不良兒童の改善　留岡家庭校長
- ▲動物愛護の鼓吹　石川理學博士
- ▲親の行爲と子孫　片山醫學博士
- ▲精神低格の兒童　吳醫學博士
- ▲誤まれる育兒法　加藤醫學博士
- ▲兒童發育と食物　長井ドクトル
- ▲兒童食物の研究　唐澤醫學士
- ▲身體發育の順序　永井醫學博士
- ▲必要玩具の特色　和田高師教授
- ▲玩具復古と斷行　久留島武彦
- ▲兒童衣服の色合　菅原文學士
- ▲お伽嘶の咄し方　巖谷小波
- ▲兒童の表情に就　源文學士
- ▲行政に於る兒童　長谷川法學士
- ▲神經質の兒童：　富士川ドクトル
- ▲兒童保護及機關　原胤昭
- ▲體育よりの兒童　大森英藏
- ▲必要の兒童遊戲　永井高師教授
- ▲成續惡い兒の親　岸邊福雄
- ▲貧民社會の兒童　坂本萬年校長
- ▲家庭に於る兒童　宮川高師教授
- ▲養育院の兒童　高田法學士
- ▲乳房の研究　河島醫學士
- ▲圖書館：　渡邊圖書館長
- ▲家庭觀　松下本鄉校長

發行所 東京飯田町四ノ四 東京社 振替東京壹八壹八 賣捌 各地書店

◉橋本 救世丸と胃腸病

赤十字院長橋本子爵の救世丸は最上の消化錠劑なり如何に頑固なる慢性胃腸病と雖も必ず全治す、最强の殺菌劑なるが故に肺結核病に最も有効なり、卓絕なる滋養劑なるが故に牛乳其他の滋養劑に勝り病後の衰弱に最も効あり

◉岩佐 壯婦丸と婦人病

宮内省侍醫岩佐男爵の壯婦丸は從來の陳腐なる漢法藥に非ず最も有効なる貴重藥にて調製し子宮病月經不調氣欝動氣、逆上、腰痛、產前產後ヒステリー等婦人諸病の良藥なり、又めまい、頭痛、不眠、便秘、神經衰弱等には男女共に偉効あり

○救世丸壯婦丸は各親王殿下の御嘉納あり又た陸軍省兩本願寺等の御用藥として我國有史以來未曾有の名譽を辱ふしたる此の一事を以て尋常一般の賣藥に非ずして最も確實に最も有効なる事を證し得べし

○藥價兩劑共拾錢參拾錢七拾錢壹圓參拾錢壹圓八拾錢○効能書贈呈

○現品は本舗又は愛國婦人發行所に於ても御取扱可申候

本舗 東京深川公園 合資會社 福井堂 電話長浪花五六九番 振替東京二三六六番

夏季向 半ゑりは 神田 赤のまんに限る

本店 神田表神保町壹番 電話本局二八五三
店 新橋博品館階上

●東洋一 製造大販賣 卸し小賣
◉かや夜具 夏冬ざぶとん
外濠線駿河臺下停留場前 神田表神保町二 矢田本店 電話本局二〇一八番 市内無賃配達
諸官省御用 （や）
●階上縱覽御随意 珍柄高等品澤山有り
●綿質保險附 ●確實大勉强 ●正札引なし

◉最新 米國製 寫聲機 平圓盤『レコード』多數輸着

- ◉兩面盤「レコード」特價金貳圓參拾錢以上各種
- ◉普通盤（片面）「レコード」特價金八拾錢以上各種
- ◉器械（米國製）特價金廿三圓半以上各種
- ◉義太夫 攝津大椽、大隅太夫、豊竹呂昇、竹本小清
- ◉長唄 杵屋六左衛門、杵屋勘五郎、芳村伊十郎
- ◉謡曲 寶生九郎、觀世清廉、梅若萬三郎
- ◉常磐津 常磐津林中、常磐津文字兵衛
- ◉清元 清元延壽太夫、清元彌生太夫、清元梅吉
- ◉三曲 荒木竹翁、荒木古童、今井慶松、高橋榮清
- ◉演劇臺詞 中村芝翫、中村雁次郎、市川左團次、市川高麗藏、

其他數十名

今回米國製造元より新製「レコード」各種共多數輸着せり發音の高調明晰なるは從來の比に非ず耐久力の如きも優に他製「レコード」の十倍以上を持續し提携繰縦亦頗る至便なり而も價格は其賣額の大增加と原料の大節約とに由り却て非常の低減を見るを得たり但し種類に依り枚數少許のものあり冀くは愛顧諸君此機を逸せず現品在荷中速に高需の榮を賜はらんことを

東京市京橋區尾張町二丁目●電話新橋特長三三、三三四、三一五

時計寶玉貴金屬 美術品内外雜貨商 天賞堂本店 （振替貯金口座東京五五、東京五九六六）

◉無料贈呈 新製米國製兩面盤「レコード」特價表（送費貳錢）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

發賣元　日本橋區小網町三丁目廿七番地　濱口吉右衛門

最上醬油

品質優等ニシテ調理ニ適ス

醸造元　千葉縣銚子町　濱口吉兵衛

宮内省御用達

最上醬油之元祖

上

開業貳百六拾七年

醸造元　下總國銚子町　濱口合名會社

振替貯金口座五〇貳番

LACTAGOL

ラクタゴール

無乳産婦の福音！

本品ハ「ベックマン」博士ニ據リテ報告セラレタル無臭美味毫モ副作用ナク蛋白質及脂肪質ノ多量ヲ含有セル乳汁ヲ分泌セシムル新薬ニシテ本邦ニ於テハ「ドクトル千秋雄雌郎氏」ニ據リテ既ニ二十六人ノ産婦ニ試用セラレ其症ニ據リテハ服用ノ初日ニ於テ効能ヲ發揮シ他ノ場合ニモ七八日間連服セシムレバ完全ニ奏効ス

（用法容易）「ドクトル千秋氏」ノ報告印刷物御要求ニ從ヒ無代進呈ス

一日用量十五瓦ニシテ百瓦入壹函代價參圓也

乳汁分泌催進劑！

東京市日本橋區本石町三丁目

藥種問屋　中村瀧次郎

振替貯金口座東京九四三番　電話｛長八六九番 本局三五六九番｝

御羽織紐
帯締
其外組糸一式

佐竹組糸舗

苟も美容を欲する諸姉は先づ

ラ、ローラ、

LA-ROLA

を愛用せざるべからず

此化粧用美容劑は日光、風、硬水に堪る樣皮膚を保ち日焦、アセモ、アレ赤顔ソバカス等を防ぐに最も妙にして且皮膚を柔かく滑かに色白く若若しくす四季を通じて用ゆれば常に美しき皮膚を保ち得らるべし

M. BEETHAM AND SON,
CHELTENHAM, ENGLAND.

製造所　英國セルテンハム、エム、ビーサム、エンド、サン商會

各地著名の化粧品店にて賣捌く

▲意匠斬新破格廉價札付

儀式用 櫛笄
龜甲 櫛中差
蒔繪 金銀 寶石入 簪指輪
帯止 ピン
珊瑚 翠 珠 玉掛
根掛
リボン
束髪三枚櫛

格安土州珊瑚直取引市價よりは三割方廉價御便利爲御持古るしの小間物引取交換仕候

東京市神田須田町（電話本局二〇七六番 振替口座二八一一番）

鼈甲小間物商　三井屋德次郎

支店　博品館内　東明館内

京橋區新橋際　神田裏神保町

最上醬油

於日英博覧會　賜名譽大賞牌

カギダイ

到る所の酒醬油店に販賣す

醸造元　下總銚子港　鶴屋吉兵衛

イヨ〱夏も近づけり！

三越の陳列場もすべて夏らしくなれり。

夏らしい着物、羽織、帯地、半襟などを始めとし、夏らしい洋服、夏らしい洋傘、夏らしい帽子、夏らしい櫛笄、夏らしい化粧品、夏らしい寫眞は、夏らしくなれる三越へ御出で有之候はゞ、早速相辨じ申べく是非〱御來観のほど奉願上候

中形浴衣地陳列會　は六月一日より開會

東京駿河町

三越呉服店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本輸入品に限り包裝紙に斜に「アイボリー」石鹸と記入し一見模造悪質石鹸と判別に容易ならしむ御購求の節「アイボリー石鹸」に御注意を乞ふ

婦人世界

六月一日發行　第六卷第七號　一冊拾五錢　郵税一錢五厘　半年分増刊郵税共壹圓五錢　一年分貳圓五錢

千代萩の乳人政岡　山路愛山　戸川殘花　中島德藏　内藤鳴雪　饗庭篁村　三輪田元道

▽美顔術を受けた記…婦人記者

▽玄米を食して肺病全快…木本京子

○家庭藝談……河瀬春次郎

▽再び自殺した女について　谷紀三郎

▽華族女學校より出でし女優　上山浦路

嫁入支度と持參金　目賀田男夫人　松本源太郎　秋元子爵　佐治實然

▽小兒病の豫防法…醫學博士加藤照麿

▽弦齋夫人料理談「梅干の効能」……

○講談「譽の夫婦」……細川風谷

▽家庭と學校との衝突…山脇房子

▽綠綬章を賜はつた婦人の涙多き生涯……戸島ゑみ子

女學生と日曜日…下田歌子

發行所　東京京橋南紺屋町　實業之日本社　振替貯金三二六番　電話京橋七八四番

長崎特優産

カネノツジ洗粉

愛國婦人會總裁宮殿下御嘉納ノ榮ヲ賜フ何ゼ？

東京婦人はカネノツジ洗粉を盛に御用ゐになるのでしよか

原料が植物質で石鹸の如く刺戟物を含まず玉の如き肌花の如き顔せ何れも自然の美を益々美白ならしむる効用の顯著なるためです

本舗　長崎市豊後町　松尾勝平

振替口座福岡二〇七四番

見本送料共十錢

一ポンド送料共二十二錢

六ポンド送料共壹圓容器ヲ[illegible]

特許名和式テンピ

嘗つて婦人世界誌上に於て弦齋夫人の料理中其の効用を稱せられたる和洋兼用テンピなり

定價（大二圓七十錢中二圓廿錢小一圓七十錢）

説明書及商品目録御申越次第送呈仕候

東京日本橋區蠣殻町二ノ十五

名和商店

電話浪花一一七七番

振替一〇二五四番

支店　神田和泉橋通り松永町十八

サンデン電氣帶

●諸治療無効絶望の方と慢性病に惱む人とは是非一度サンデン電話帶を使用せられよ

說明書奏効證明書無代進呈

▲定價　五圓以上三十圓迄　十種

サンデン電氣商會

本店　東京市京橋區尾張町二丁目銀座通（電話新橋四一二二）（振替東京一八四七三）

支店　大阪東區心齋橋筋假勢※南入西側　横濱吉田町一の廿九（電話一九三）

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

リスリン入蜂蜜製
理化應用
和[illegible]松石鹸

東京市京橋區新宮町七丁目六番地
石鹸製造業
相馬帝國社

常ニ使用スレバ色ヲ美クシ肌ヲ滑ラカク光澤ヲ出ス本品ノ特色ハ使用ノ際永ク湯水ノ中ニアルカ又ハ紙ノ如ク薄クナルマデ使用スルモ溶ケ又崩レルコトナシ

皆様
今日もまた
丈夫で元氣で
心から愉快に
「暮す様」
「ゼム」を
今すぐ
召上れ

消化と毒けし
ゼム
懐中良薬
口中香錠
到る所の賣薬化粧品店にあり

胃病良薬
太田胃散

ピアノ、オルガン
ヴァイオリン、ハモニカ
西洋樂器各種
音樂圖書出版販賣
新版目録無代送呈
松本樂器合資會社
東京銀座

有名なる
ハカマヤ
精撰廉價
堅實懇切
裁縫巧妙
染色保證
東京神田小川町
影山專門店
電話本局　三八二六番

夏の最新柄
はんゑり
ゑり善
(東京日本橋堺町通ふきや町電浪一二七〇番)

御扇子
愛國婦人會御用達
京都寺町五條下ル東側
御影堂
持阿彌

愛國帶
●一本代價貳圓拾錢
地質は綿七々子九寸巾二丈一尺ヅカイ更紗形本染模様之考案は高尚にして優美見本御入用之方は御申込次第差上ます
東京市麹町區九段坂下
愛國婦人發行所
電話番町五二〇
振替東京一一三八一

六月一日より
かたびら地新製品陳列
特製浴衣地新製品陳列
夏季洋服地薄羅紗新着
シフォン製ショールとヴェール
本年型夏帽子洋傘
新型旅行用化装道具種々
東京日本橋
白木屋呉服店

地方よりの御注文は通信販賣課宛御申越下され候はゞ誠實迅速に御取扱申上候

半ゑり
帯揚
帯帛紗
伊達巻
るい
京都京極四條角
ゑり清
電一九三〇

別染するゆかた
めりんす友染新形
いせさきめいせん
其外夏物全部取揃
東京人形町通よし町
赤のれん
おむなや本店
電浪四三四五
向ふまへ
おむなやめりんす店

旬日午前八時ゟ午後九時迄院長診察
皮膚梅どく
りん病
わきが
生殖器諸病
ぢ
東京淺草橋通瓦町廿八瓦町停留場横
中央醫院

皮膚諸病
梅どく
りん病
諸病
消渇
ぢ
婦人病ヒステリー症たむしにきび等
婦人諸病
血の道
子宮病
月やくとまりたる病
子なき婦人
生殖器病
神經衰弱
記憶力減衰陰萎夢精遺精早漏陰莖發育不充分
わきが
▲病狀を記し郵券六錢を送れば其病を速治する專門醫中央醫院々長處方の特効新藥説明書を送る
東京淺草瓦町廿八瓦町電車停留場横
中央藥院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新婦人

第一年第三號　六月一日發行

畫報的婦人雜誌

見るもの

花籠　油繪二十五度摺……川村清雄筆

花か蕾か　原色版……波々伯部金州筆

華燭の夜　可憐解語の花今夜何人の爲にか開く……コロタイプ寫眞

朝香宮允子内親王殿下
北白川宮擴子女王殿下
梨本宮方子女王殿下
徳川伯爵令嬢繡子姫
戸田伯爵夫人極子の方
前田侯爵夫人漾子の方
前田伯爵夫人直子姫
吉川伯爵令息夫人鎌子の方
九條男爵夫人武子の方
大谷東本願寺法主令妹綾子姫
樋口氏令嬢糸子嬢
本誌顧問鈴木伊麻吉君

本誌口畫揮毫者波々伯部金洲君
女子大學教授手塚かね子
聲樂家柴田環女史
閨秀書家歌川若栄女史
閨秀書家跡見玉香女史
女流木版彫刻師大倉きみ子女史
内海氏令嬢節子嬢
高橋是清男令嬢
大村伯爵家令嬢
後藤風雲堂令嬢
五島子爵令嬢萬子代姫
フォークアデル女史

閨秀書家和田しげ子女史
棚橋半藏氏夫妻
銀行員を罵れる女事務員
岩崎新夫人八穗子
京都園藝家小川縫子
湯淺氏夫人竹子
鷹司公爵令嬢
盛裝せる宮中女官中神房子
東郷男爵令嬢
吉村甚兵衛氏令嬢
聲樂家石井園子女史
松本工學士夫人廣子

佐藤あき子愛嬢
佐藤千枝子女史
瓜生海軍中將夫人
鳩山春子女史
渡邊大次郎氏夫人稻子
中澤彦吉氏令嬢
米井源次郎氏令嬢清子
百瀬とく子女史
宍戸ひやう子嬢
女優片岡花子
藤原時代女房正裝
其他名女流小照

讀むもの

附録　家庭日誌

温度表　晴雨表　來客簿
獻立表　舊暦九星附

女より見たる女……小島文子
女事務員より見たる銀行員……米田雪子
夏季に於ける化粧秘傳……藤波芙蓉
女房は古いに限る……醫學博士　佐藤三吉
掃除は目でして手でするな……文學博士　幸田露伴
良妻賢母と高等教育……大隈伯爵
予は如何に日本婦人を見るか……衆議院議員　藏原惟郭
鬢髷と婦人……文學士　東海林辰三郎
婦人の厄年……人性主筆　石橋臥波
乳兒の歯の不衛生……本誌顧問　鈴木伊麻吉
平家の女性……梅澤和軒
模範とすべき奮闘的婦人……島貫兵太夫
女流文學者より見たる清少納言……尾島きく子　長谷川時雨　岡田八千代
四人の子を捨てゝ耶蘇教に入る……矢島楫子
獨逸皇后拜謁記……河井道子
洋樂を學ばんとする人に……柴田環
女優になりし動機……佐藤千枝子
富貴の御前で義太夫を語りし感想……石井その子
予が理想に在る顔世御前……福本日南
首や胴を切こまざく時の趣味……大倉きみ子

「深夜強盜に襲はれし時は如何すべきや」といへる懸賞案件の發表は本號に掲載さる
奇想天外より墜つるの答案山の如し

四六倍判　用紙美術紙　總紙數二百頁　一冊金廿八錢　郵税二錢五厘

發行所　東京市本郷區龍岡町三十四　電話下谷一六七二◉下谷四〇七九　聚精堂　（振替東京三〇五八）

明治四十四年六月一日發行（毎月二回一日、十五日）（定價金三錢五厘　一ヶ月金七錢　郵税不要）（廣告料一行金六拾錢）
發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　竹内貞三
●發行所　東京麹町區飯田町　愛國婦人發行所　●電話番町千七百四十五番●同五百二十番
●印刷所　東京市小石川區久堅町博文館印刷所
●振替貯金口座東京壹壹三八一番

愛國婦人廣告取扱
京橋區宗十郎町一七　正路喜社
愛國婦人海外廣告一手取扱
京橋區南紺屋町一　一星社
神戸市元居留地仲町三八　東洋廣告取次會社
京橋區廣告社

附錄 愛國婦人會記事

本部記事

▲評議員氏名　去月九日開催の第十回總會に於ける選擧の結果評議員に當選され總裁殿下の御囑託を被られたる諸氏の氏名左の如し。

（次第不同）

公爵一條實輝夫人　一條悦子
公爵大山巖夫人　大山捨松
公爵近衛文麿母堂　近衛貞子
公爵毛利元昭母堂　毛利安子
侯爵鍋島直大夫人　鍋島榮子
子爵岡部長職夫人　岡部坻子
伯爵阿部正桓夫人　阿部篤子
男爵濱尾新夫人　濱尾作子
棚橋一郎母堂　棚橋絢子
三輪田元道母堂　三輪田眞佐子
伯爵伊東祐亨夫人　伊東美津子
男爵三井八郎右衛門夫人　三井高子
公爵九條道實夫人　九條恰子
公爵二條基弘夫人　二條事子
侯爵池田仲博夫人　池田孝子
侯爵細川護成夫人　細川め子
侯爵野津鎭之助母堂　野津濟子
侯爵黒田長成夫人　黒田静子
侯爵佐竹義生夫人　佐竹貞子
前侯爵夫人　佐々木行子
前侯爵世嗣夫人　佐々木絹子
伯爵板垣退助夫人　板垣常子
前伯爵夫人　井伊極子
伯爵戸田氏共夫人　戸田銀子
伯爵東郷平八郎夫人　東郷貞子
伯爵小笠原長幹夫人　小笠原綾子
伯爵大隈重信夫人　大隈茂子
伯爵樺山資紀夫人　樺山磨子
伯爵香川敬三夫人　香川百子
伯爵黒木爲楨夫人　黒木つ子
伯爵兒玉秀雄母堂　兒玉遊子
伯爵寺内正毅夫人　寺内光子
子爵井上良馨夫人　井上披子
前子爵夫人　岩倉增子
子爵井伊直安夫人　井伊鶴子
子爵花房義質夫人　花房辰子
子爵長谷川好道夫人　長谷川壽子
子爵西寛二郎夫人　西花子
前子爵夫人　丹羽岡子
子爵細川利文夫人　細川幸子
子爵本莊宗義夫人　本莊時子
子爵戸田忠行夫人　戸田秀子
子爵小笠原長生夫人　小笠原清子
子爵川村景明夫人　川村菊子
前子爵夫人　鍋島島子
前子爵夫人　鍋島百子
子爵山地元彦母堂　山地繪子
子爵松平康民夫人　松平入子
子爵佐竹義理夫人　佐竹絹子
子爵清浦奎吾夫人　清浦錬子
男爵伊集院五郎夫人　伊集院繁子
男爵原口兼濟夫人　原口せき子
男爵波多野敬直夫人　波多野篤子
男爵尾崎三良夫人　尾崎八重子
男爵大藏平三夫人　大藏松子
男爵高木兼寛夫人　高木富子
男爵宇佐川一正夫人　宇佐川種子
男爵松平正直夫人　松平須磨子
男爵松村務母堂　松村琴子
男爵鍋島安正夫人　鍋島貞子

男爵有地品之允夫人　有地捨子
男爵佐藤進夫人　佐藤靜子
男爵阪井重季夫人　阪井春子
男爵澁澤榮一夫人　澁澤鎌子
男爵千家尊福夫人　千家俊子
男爵關義臣夫人　關むら子
伊澤修二夫人　伊澤千世子
法學博士鳩山和夫夫人　鳩山春子
原亮三郎夫人　原禮子
早川千吉郎夫人　早川里子
新山莊輔母堂　新山樂子
醫學博士保利眞直夫人　保利久土
陸軍中將本郷房太郎夫人　本郷み子
陸軍少將豐島陽藏夫人　豐島文子
農商務次官押川則吉夫人　押川愛子
大谷維治夫人　大谷かち子
東京市長尾崎行雄夫人　尾崎英子
陸軍中將大迫尚道夫人　大迫陸子
農商務省大久保利武夫人　大久保榮子
醫學博士岡田和一郎夫人　岡田稲子
渡邊千秋夫人　渡邊源子
渡邊大治郎夫人　渡邊稻子
醫學博士片山國嘉夫人　片山洲子
醫學博士井上英三郎夫人　島井眞錄子
視學總監龜井英三夫人　高木錦子
法學博士高木豐三夫人　武田々子
女子高等師範學校教授　高橋椿子
高橋新吉夫人　津田し子
長井利右衛門夫人　長井れ子
中井新右衛門夫人　中井以子
行政裁判所長室田景辰夫人　室田勢子
官法學博士山脇玄夫人　山脇房子
柳谷謙太郎夫人　柳谷千代子
山本達雄夫人　山本ほ子
安田善次郎夫人　安田た子
文部次官岡田良平夫人　岡田子
法學博士寺尾亨夫人　市子
工學博士近藤虎五郎夫人　近藤子
近藤廉平夫人　江木子
江木千之夫人　古河子
有島武夫人
醫學博士高山紀齋夫人
女子高等師範學校教授
海軍造兵總監澤鑑之丞夫人
菊地長四郎夫人
三井源右衛門夫人
三井三郎助夫人
三井養之助夫人
法學博士三井武之助夫人
陸軍中將乃木希典夫人
島田三郎夫人
農商務省農務局長下岡忠治夫人
清水英子
醫學博士北里柴三郎夫人
東京市本所區長田杉仁杉英夫人
伯爵南部利淳夫人
事務松平頼温夫人
子爵松平直亮夫人
子爵櫻井忠興夫人
子爵鳥居忠文夫人
伯爵有馬頼萬夫人
子爵大河内正敏養母
大田黒重五郎夫人
子爵伊東祐弘夫人
小野田元熈夫人
村上敬雄夫人
安藤謙介夫人

（以上再當選）

▲理事監事改選　去る十八日本部樓上に於て評議員會開催、理事及監事の選擧あり、左記の諸氏當選され總裁殿下より御囑託あらせられたり。

理事　伯爵夫人　阿部篤子
同　男爵夫人　濱尾作子
同　三輪田眞佐子
同　有島幸子
同　棚橋絢子
同　男爵夫人　閑郁子
同　古市幸子
同　高木鎌子
同　山脇房子
同　前子爵夫人　丹羽花子
監事　山本たほ子
同　高橋すい子

大島久滿次夫人　大島富子
大塚實夫人　大塚供子
公爵三條公美夫人　三條代子
阿部浩夫人　阿部龍子
男爵小早川四郎夫人　小早川式子
園田孝吉夫人　園田鉒子
鶴原定吉夫人　鶴原誠子
侯爵木戸孝正夫人　木戸榮子
男爵目賀田種太郎夫人　目賀田逸子
男爵岩崎久彌夫人　岩崎寧子
永井環夫人　永井兼子
平岡定太郎夫人　平岡夏子
安田善三郎夫人　安田晤子
男爵安場末喜夫人　安場も子
子爵松平乘長夫人　松平芳子
加藤增雄夫人　加藤佐子
子爵鍋島直和夫人　鍋島貞子
子爵藪篤麿夫人　藪篤子
南部光臣夫人　南部幸子

（以上新任再選）

▲正副會長選擧　同じく十八日理事改選の後、理事會開催、理事伯爵夫人阿部篤子氏會長に、男爵夫人濱尾作子氏副會長に各互選の結果當選せられ、翌十九日總裁殿下より御囑託遊ばされたり。

▲總裁殿下京都支部總會台臨　既報の如く總裁宮殿下には理事山脇房子、評議員三井五十子、本部第二部長杉原全德、三井事務員其他を隨へさせられ、五月二十日午前八時三十分新橋より、京都へ向け御發車あらせられたるが、同日午後七時三十七分無事京都御着車、翌二十一日午前泉山御參拜の事あり、午後支部總會に御臺臨終つて久邇宮並に賀陽宮兩殿下を御訪問遊ばされ、二十二日は午前村雲尼殿御訪問、午後博覽會動物園等御巡覽あり、盧山寺、梨本神社等御參拜、同じく六時よりは中江別莊に於ける晩餐會へ御臨場、二十三日御滯在、二十四日午前九時二十五分京都御發車、同じく午後八時三十分御機嫌麗はしく新橋驛へ御歸着遊ばされたり。

▲有功章其他贈與

石川支部

功績に依り一等有功章贈與　石川支部石川郡幹事部長　丹羽壽子

功績に依り二等有功章贈與　石川支部幹事　宮本きく子　同　安川春子

石川支部

功績に依り三等有功章贈與
珠洲郡幹事部長　河崎すみ子　幹事　原かく子
同　大河原桐子　同　松平勇子
同　吉崎嘉賀子　同　出野やゑ子
同　尾上はな子　同　田中濟子
同　成田ひさ子　同　中川はる子
同　永山正子　同　内田余所子
同　山村幾久子　同　駒井依子
同　佐藤ゆき子　同　平岡數子
同　關乙子　同　森綠子
同　見本孝子　同　新莊よし子
同　磯野金子　同　洞庭こと子

金五十圓寄附に依り三等有功章贈與　石川支部　横山他子
（以上三月二十三日）

金五十圓寄附に依り三等有功章贈與　青森支部　山内かをる子
（三月二十四日）

金五十圓寄附に依り三等有功章贈與　石川支部金澤市　雛谷多喜子
（三月二十五日）

功績に依り一等有功章贈與　福島支部石城郡幹事部長　中村千代子
同　中村定子

功績に依り二等有功章贈與　福島支部幹事　安島とし子　同　石川まさ子

石川支部

幹事　齋藤さい子
同　丹羽とく子
同　生駒きく子
同　石城郡幹事部事務員　高木之親

同　大柳内つなかれ子
同　大森吉彌

功績に依り三等有功章贈與　石川支部石城郡幹事　婦女鑑及扇子

同　三ツ組木杯
同　木杯一個

功勞に依り特別謝狀並頭書の通贈與（三月二十五日）
幹事部幹事　高口たいかく子
同　伊木又員子
同　四坂正
同　大家内衛吉
同　大平藏兵清
同　秋野惟一
同　長山喜男
同　酒井事
同　野崎武兵衛
同　小野金太郎
同　鈴木義彌
同　中野忠治
委員　吉田久治
事務委員　神谷村
委員　大浦村

石川支部

石城郡幹事部幹事
委員　誠岡響子
同　吉田光信　委員　佐藤丈之助
同　赤津亦太郎　同　長友太郎
同　加茂元吉　同　齋藤静明
同　青木又治　同　鈴木友治
同　鶴沼忠吉　同　鈴木常次郎
同　鎌倉政治　同　田子英吉
同　武藤英武　同　横山直治
同　松崎松治　同　若松美三
同　小野淺治

功勞に依り第一種謝狀贈與（三月二十五日）

功績に依り一等有功章贈與　石川支部石川郡幹事部幹事　中崎恵子

石川支部

金百五十圓寄附に依り二等有功章贈與　石川支部能美部小松町　織部ふじ子
同　石川支部河北部　同　永井音羽
幹事　久保ふさ子

功績並寄附金に依り二等有功章贈與

各金五十圓寄附に依り三等有功章贈與（四月三日）
金澤市南町　中屋英容子
珠洲郡三崎村　坂木ひさの子
能美郡國府村　近藤種子
同　小林きく子
同　本田かの子
同　山上つれ子
杉津村　高林いよ子
寺井野村　田上なつ子
同　平野ひな子
同　田川そと子
同　富田てい子
同　吉村つれ子
江沼郡大聖寺町　中谷もよ子
同　森本そと子
同　淺井まつ子
同　濱中さだ子
大村　宮澤とわ子
大聖寺町　大家しく子
同　森川かい子
八田村　松村ゑ子
野田寺町　柴田まさ子
金澤市小松町　新保つよ子
能美郡野村　松本すき子
宮奥村　赤土すみ子
石川郡金石町　川北きく子
旭村　宮田美津子
同　武田とし子
同　濱田房太郎
同　鹽山きつの子
同　篠田みつ子
瀧尾村　野田しげ子
七尾町　原可久子
七尾町　和倉しげ子
同　岩井きよ子
森本村　井原きい子
同　奥村そよ子
同　北岡りき子
同　岡田かめ子
能美郡小松町　米村しか子
同　町野美代子
同　本田ちか子
同　片桐とく子
同　石崎いせ子
同　山本ゆき子
同　松田きの子
同　新田さき子
金澤市片町　金守てる子
北ケ市　山城しづの子
同　吉田たつ子
大聖寺町　山田ひで子
同　長谷川はめ子
森本村　菊池はな子
同　寺田みと子
大野村　東田けい子
公園内　杉本みよ子
坂津村　太田みつ子
松任村　橋本きく子
同　小林きさ子
同　廣瀬ひき子
能美郡久常村　内野すゞ子
鹿島郡餘喜村　松田すて子
同　稲村嘉右衛門
同　北出利子
能登村　谷川なた子
大呑村　長谷川つる子
河北郡北同　石田はるさ子
同　三宅ひさ子
河北郡津幡町　宮村すゞ子
中條村　宮村すみ子
宇野氣村　奥村みよ子
同　松井さく子
石川郡上金石町　辻君子

富山支部

功勞に依り特別謝狀並頭書の通り贈與（四月三日）
婦女鑑一册　石川支部幹事　野口みそ子
同　同　金田きく子
木盃一個　同　村井又兵衛
同　委員　的場宗次郎

功績に依り一等有功章贈與（四月五日）
支部長　濱田譽子
婦負郡幹事部長　前田久美子
射水郡　同　長谷川まき子
高岡市　同　松島郁子

▲理事會　去月二十二日午後一時半より理事會開催、阿部會長、濱尾副會長、三輪田理事、關理事、丹羽理事出席種々協議せらるゝ處ありたり。

▲顧問薨去　本會顧問子爵谷干城氏去月十三日薨去に付き本會よりは理事有島幸子氏會長代理として會葬し弔辭及榊代金員一封を靈前に供されたり。

●朝鮮本部にては去月二十七日京城昌德宮御苑に於て第二回會員總會を開催したり、詳細次號。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

香川支部

▲第二回會員總會　當支部第二回會員總會は　總裁殿下の台臨を仰ぎ、去る四月八日午後二時より栗林公園内にて開催されたり、先づ當日式の順序を擧ぐれば左の如し、

(一)午後二時參列者參着式場指定の場所に整列(煙火二發)
(二)兩殿下掬月亭に御休憩中　總裁殿下へ支部長職員名簿及會員表を奉呈す午後二時二十分支部長顧問御先導　兩殿下式場に台臨(一同敬禮、煙火一發、奏樂)
(一)支部長開會を宣す、
(二)總裁殿下御諭旨を賜ふ(一同敬禮)
(三)支部長答辭を奉る
(四)支部副長會務の狀況を報告す
(五)會長祝辭
(六)支部長有功章御親授の旨を宣す
(七)總裁殿下有功章御親授
(八)會長有功章狀を交付す
(九)支部長遺族癈兵總代へ特別御下賜金御親授の旨を宣す
(一〇)總裁殿下特別御下賜金御親授
(一一)支部長閉會を宣す
(一二)兩殿下御退場(一同敬禮、煙火二發、奏樂)支部長及顧問御先導物產陳列所に入らせられ陳列品御巡覽の上樓上御休憩室に入らせらる、(御休憩所より御歸舘の際階下に於て佩有功章者及幹事拜謁
(一三)參列者退場

當日は前夜來の名殘りを止め、時々春雨蕭々として來り、園内の花一入に妍なり、さて定刻に至るや、二發の煙火を合圖に來賓、遺族癈兵、會員等各指定の場所に參着するもの約八千五百名、更らに第二の煙火中天に響くや總裁殿下には鹿小木支部長の御先導にて奏樂の裡に式場に台臨あらせられ、一同の御敬禮を受けさせらる、やがて支部長開會を宣して總裁殿下に御諭旨を賜はる旨を告ぐ、總裁殿下には徐ろに御起立あり、一同最敬禮の裡に御聲麗はしく左の御諭旨を賜はりたり。

御諭旨

香川支部ハ創設以來熱誠ナル諸氏勵精克ク其職ヲ盡シ會員歲ニ增シ會務亦能ク整頓シ茲ニ第二回會員總會ヲ開クニ當リ諸氏ト親シク相見ルハ最モ欣喜ノ至ナリ本會ノ目的タル遺族癈兵救護ノ道ヲ講シ會務ヲ擴張スルハ平時ニ在リ諸氏厚ク本會仁愛ノ主旨ヲ體シ一層奮勵益會運ノ隆盛ヲ翼贊センコトヲ望ム

右御諭旨に對し支部長は左の答辭を朗讀せり

答辭

本日茲に愛國婦人會香川支部第二回總會を開くに方り　總裁殿下の台臨を辱うし親しく優渥なる御諭旨を賜はりたるは當支部無上の光榮にして洵に感激の至りに堪へす自今益救護事業の完成に努め以て台諭に副ひ奉らんことを期す謹て奉答す

明治四十四年四月九日
愛國婦人會香川支部長　鹿子木八十千

夫れより堤支部副長は左の報告を朗讀したり

報告

當支部は明治三十四年七月の創設に係り翌三十五年十二月發會式を擧げ越て三十八年十月十日第一回總會を開きたり當時の會員は八千五百五十四人なりしも爾來世の同情を得て今や現在會員一萬三千五百五人に達し一ヶ年の會費金一萬千四百六十五圓を算するに至れり軍人遺族癈兵の救護事業は日露戰役後益擴張の必要に迫りたるも其人員俄かに增加し普く授産の途を設けんには多額の資金を要し經濟の許さざる所あるを以て老幼疾病等にして生業を營み難きものに限り食費を贈與するの方法を設け三十九年より之れを實施せり以來今日まで救護せし延戸數を擧ぐれば遺族二百六十一戸癈兵二十一戸にして現に救護中に係るもの遺族四十三戸癈兵三戸なり以上は會務の一端に過ぎざるを以て尚詳細の狀況は別に配付せし報告書に就き了承せられんことを望む右報告す

明治四十四年四月九日
愛國婦人會支部副長　堤　備子

次で阿部副會長は左記祝辭を朗讀されたり

祝辭

愛國婦人會香川支部は總裁殿下の御台臨を仰ぎ本日第二回會員總會を開かる篤子等の最も慶賀する所なり惟ふに當支部は設立以來會務の擴張に留意せられ嚮きに其基礎を固うする爲め十年計畫を立てられ以後孜々として今日に及びしは洵に欣喜に堪へざる所なり各姉妹方は努めて以て總裁殿下の台旨に副ひ奉られむことを聊か所思を述べて祝詞とす

明治四十四年四月九日
愛國婦人會副會長伯爵夫人　阿部篤子

これより殿下には左記十五名に對し有功章を御親授あらせられたり

一等有功章
長町武子　稻葉松子　植田コウ子

二等有功章
鈴木章子　末澤ツネ子　細谷タメ子　佐々木喜知
坂東トミ　加藤貫　向井榮　久保ツル
阿田ヨシノ

三等有功章
堤備子　森田カネ子　瀨高イキ子

終りて癈兵惣代山口陳及び遺族惣代へ特別御下賜金の御授與あらせられ之れにて目出度終了を告げしが式後參列者一同に對し記念として殿下御染筆の扇子一本宛を頒ちたり

靜岡支部

▲沼津町會員總會　當支部駿東郡沼津町に於ては五月七日沼津女子尋常小學校に於て同町第二回會員總會を開催せり、式場正面に文天祥忠孝の對幅を掛け午後二時開會幹事の開會の辭に次て唱歌金剛石合唱石原支部長の告辭辻幹事部長の祝辭來賓白岩女子小學校長は忠孝に就て辻幹事部顧問は本會主旨普及會務擴張に就て演述し會員總代同町幹事石本すゞ子の答辭遺族癈兵へ支部長より菓子料若干の贈與ありて閉會せり、當日出席者は來賓辻駿東郡幹事部顧問齋藤沼津驛長白岩女子尋常小學校長赤塚沼津町收入役以下二十餘名遺兵癈兵十餘名會員約二百名にして薩摩琵琶及尺八琴合奏の餘興あり記念品として扇子を分ち折詰菓子等を配布し幹事一同は特に遺族癈兵の接待に勗め一同歡を盡して午後五時散解せり、因に沼津町は幹事一同幹事部長と力を協せ會員の增募に盡力せる結果會員四百六十餘名を得女子人口百人に對し六人七分の歩合に達するの盛況を呈せり。

櫔木支部

▲遺族接待　去る五月六日宇都宮市なる舊城址内に於て本縣招魂社第一回大祭執行戊辰西南日淸日露各戰役に於ける戰病死者千六百餘人を合祀され祭主鮫島師團長齋主戸田子爵中山知事其地文武高等官名譽職員諸學校長參列頗る盛大に擧行され同地未曾有の賑ひなりしが當支部にては祭場武德殿西側に淸洒たる遺族接待所を設け參拜の遺族千百三十八餘を接待し會徽章入菓子折一折宛を贈呈したるが支部長始め職員諸氏此間大に斡旋に努められ懇切に接待せられたり

神奈川支部

▲足柄下郡幹事部總會　當支部足柄下郡幹事部總會は去月七日赤十字社同郡委員部と合同し小田原町第二中學校内に於て開催せられたり、當日支部よりは支部長顧問及日比主事内藤會計監督谷口久保深川三事務員等列席し先づ幹事部長石川田龜子開會の辭に次ぎ君ヶ代の奏樂あり終りて幹事部長支部長に會員表を提出し一同最敬禮の中に御令旨を拜讀す次に周布支部長左の式辭を朗讀さる

式辭

本日愛國婦人會神奈川縣支部足柄下郡幹事部第一回總會を開くに當り茲に各位と相會して此盛典を見るに至りたるは洵に喜ばしき限りなりとす夫れ本會の事業は國家の干城たる軍人の遺族と傷痍の爲め兵役を退かれたる軍人とに同情を寄せ慈善の誠意を盡すに在り、されば戰時と平時とを問はず常に心を斯業の發展に注ぎ實力の充實を計らざるべからず彼の明治三十七八年の戰役に際し會員各位の赤誠を集めて遺族癈兵慰安救恤の實を擧げ畏くも至貴至高なる
令旨を拜受し又當幹事部は銀杯の恩賞を受くるに至りたるは是れ職員並に會員各位至誠奉公の効果にして實に感激に堪へざるなり今や本部慈善の婦女奮て斯業に贊し加盟せらるゝもの千七百十名に達したり然りと雖も本會の事業は前途尚遼遠にし各位今より益々心を協せ力を一にして斯業の發展に勵精あらんことを冀ふ茲に本會の隆盛を祝し併せて各位の淸福を祈る

明治四十四年五月七日
愛國婦人會神奈川支部長　男爵夫人　周布貞子

次に石川幹事長左の答辭を朗讀す

答辭

愛國婦人會神奈川縣支部足柄下郡幹事部第一回總會を開くに方り支部長閣下親しく臨ませ給ひ最と懇篤なる訓諭を賜はる當幹事部の光榮之に優る者なし惟ふに本會の事業は年と共に發展し明治三十七八年の戰役に於ては本會の主旨を實地に施し克く其効績を擧ぐるを得畏くも優遇なる令旨を拜受し又政府よりは銀杯の恩賞を拜し衆會員と共に無量の光榮を荷ひ感激措く所を知らず爾來本會の主旨を贊するもの日に多きを加へ今や當幹事部の會員一千七百十名に達するを得たり是れ愛國至誠の發動なりと雖も亦實に閣下御獎勵の賜にして慶賀に堪へざるなり會員等今より同心協力一層奮勵し益々進みて會務を擴張し以て訓諭に副はんことを誓ふ茲に會員一同に代り謹みて答詞を呈す

明治四十四年五月七日
愛國婦人會神奈川縣支部
足柄下部幹事部長　石川田龜子

次に幹事吉田里子の事務報告あり

事務報告

本日幹事部第一回會員總會を開くに方り茲に其實況を報告せんとす當幹事部は明治卅四年二日創設せられ幹事其他有志諸氏の熱心なる盡力に依り逐年會員增加し本月六日迄の現在會員は佩有功章者十五人特別會員五十七人通常會員一千六百三十八人合計一千七百十人を算するに至れり
明治三十七八年戰役に際し傷病兵士の療養所を本部湯ヶ原に假設せらるゝや當幹事部職員並に會員に交同地に驅せて此等傷病兵を慰問し又一面には戰病者の葬儀に列し其靈を慰め平和克復後は軍人遺族癈兵を訪問し之が慰撫に力め今日に及べり昨四十三年八月本會に於て臺灣生蕃討伐隊へ慰問袋贈呈の企劃あるや當幹事部職員は配當數以上の慰問袋を調達寄贈したり
當幹事部設置以來收納したる會費總額は會費寄附金を合し七千三百八十八圓六十一錢にして之が全部は神奈川縣支部へ送納したり
右報告す

明治四十四年五月七日
愛國婦人會神奈川縣支部
足柄下部幹事部幹事　吉田里子

次に會員一同を代表して辻村歌子左の祝詞を朗讀す

祝詞

人誰か生を願ひ死を厭はざらんや去れど我帝國軍人が生を忘れ死を見ることさながら鴻毛の輕きが如く露ばかりも之を恐れざる所以のものは他なし忠君愛國の熱情禁ずる能はざるによるものなりされば國家の爲め命を賭し身を捨てゝ戰場の露と消えしものゝ遺族及身を傷け不具となりたる癈兵諸君に同情の涙を灑き慈善の誠意を盡すは正に是れ國民の義務にして我愛國婦人會の因て起る所なり今日茲に當幹事部第一回總會を開き支部長閣下親臨して此盛典を擧げらる實に感激に堪へざるなり會員等尙益々進みて斯業の發展に力め支部長閣下の訓諭に副ひ愛國の至誠を盡さんことを期す茲に會員一同に代り本會の隆盛を祝す

明治四十四年五月七日
愛國婦人會神奈川支部
足柄郡幹事部幹事　勳六等　辻村歌子

右終りて支部長周布貞子より癈兵總代大津政吉及遺族總代大久保こう子に金員一封宛を授與し同十二時二十分幹事部長閉會の辭に次て順次退場し後別席に於て茶菓折詰の饗應あり午後一時二十分より講談太神樂等餘興に移り同四時散會したるが當日は雨天にも拘はらず出席者兩會員を合せて無慮千五百餘名の多きに及び非常の盛會なりき

愛媛支部

▲大洲町外八ヶ村聯合總會　四月二十日大洲町公會堂に於て第三回大洲町外八ヶ村聯合總會開催其狀況左の如し

一、公會堂床の間に御影を奉置し正午十二時より滿場靜肅に式を擧げ午後一時三十分左の順序に式を終了す。
一、開會前豫報として煙火二發を打揚ぐ。
一、招待に應じ參集せし遺族癈兵六十五人。
一、出席會員二百人。
一、招待者並に會員へは折詰辨當に茶菓を饗し餘興として福引並に美當一誠の講演を催したり。

式次

一、午前十一時一同式場へ整列　一、支部長入場(一同敬禮)一、幹事部長式の旨を告ぐ　一、御影開扉(一同最敬禮)一、支部長告辭　一、奏樂(君ヶ代)一、令旨捧讀(一同最敬禮)一、祝辭演說(顧問其他)一、支部會務の現況報告(幹事部事務報告)一、會員總代祝辭　一、御影閉扉(一同最敬禮)一、幹事部長式の終を告ぐ(一同敬禮)退場

岩手支部

▲盛岡市例會　四月十一日當支部盛岡市例會を縣會議事堂に開き軍人遺族及癈兵の慰藉に關する件及慈善演藝會開催に關し協議を遂げ夫より態々二戸郡より出盛したる佐藤大鱗師の有益なる精神講話、毛馬内治孝氏の歌道に關する說話ありたり、出席者は笠井支部長、永田、下田兩副長、各評議員、幹事、一般會員三十餘名にして會務に關し種々協議の上午後四時散會したり

愛國婦人第二百二十六號附錄　發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　竹內貞三　發行所　東京麴町區飯田町　愛國婦人發行所　印刷所　東京市小石川區久堅町　博文館印刷所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN